

令和4年度 工事仕様書・設計内訳書

工事名称 工事成績優良業者対象工事
ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事
工事場所 明石市二見町東二見1836-1
工期 契約の翌日から、令和5年1月19日まで
技術者等 現場代理人：他工事との「兼務可」
主任又は監理技術者：「非専任」

課長	担当課長	担当課長	係長	係長	精算者	担当(建築)	担当(電気)	担当(機械)
								

1.設計コード 04HA0430

2.工事内容（・新築 ・増築 ・改築 改修）
・外壁の全面改修

3.支払条件

前 金 払 当該会計年度の出来高予定額の40%以内

中間前金払 当該会計年度の出来高予定額の20%以内

部 分 払 令和4年度内2回以内

完 成 払 完成後、残額一括支払い

4.特記事項

関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。

省エネ、省資源、廃棄物の減量、リサイクルの推進等により、環境負荷の低減を図ること。

「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡しが完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。

引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。

原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。

学校園の工事では原則として、土曜日の校舎内での作業を行わないこと。

万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。

営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。

敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。

工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。

工事期間中は、必要に応じて交通誘導員を増員すること。

工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。

本設計書は公共建築工事積算基準等（2022年1月1日時点の最新版）に基づき積算している。

公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。

建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
< 防水改修 >						
養生(防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	262	m ²			
整理清掃後片付け(防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	262	m ²			
< 外壁改修 >						
養生(外壁改修)		557	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		557	m ²			
開口部養生(外壁改修)	合板張り養生	415	m ²			
< 外部足場等 >						
外部足場(くさび又は枠組、手すり先行方式)	建枠1200 20m未満 6ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	3,307	m ²			
養生シート張り	防炎 類 6ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	3,307	m ²			
足場廻り進入防止メッシュシート貼り	足場外周H1.8m(足場下部直張り) 足元巾木、内外共	361	m ²			
軒裏用仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下	2,068	m ²			
計						

建築工事		防水改修工事		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜防水下地 水洗い	高圧ポンプ 10～15MPa程度	490	m ²			
屋根谷樋 塗膜防水下地調整	既存防水面 屋外 C-1 桁桁系	51.2	m ²			
屋根谷樋 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 平面 表面塗装シール	17.9	m ²			
屋根谷樋 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 立上り 表面塗装シール	33.3	m ²			
庇・バルコニー 塗膜防水下地調整	既存防水面 屋外 C-1 桁桁系	439	m ²			
庇・バルコニー 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 平面	339	m ²			
庇・バルコニー 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 立上り	100	m ²			
庇・バルコニー上配管 等基礎ブロックパッキ アップ		1	式			
防水保証標識	亚克力板200×150×t3.0印字文字	1	か所			
伸縮目地シリング	一般部 ポリウレタン系(PS-2) 25×10	586	m			
打継目地シリング	一般部 ポリウレタン系(PS-2) 25×10	284	m			
タイル-外壁塗材取合 シリング	一般部 ポリウレタン系(PS-2) 15×10	51.8	m			
アルミ建具廻りシ リング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 水切取合い共	1,426	m			
金物・水切取合い シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	322	m			
防水端末取合い シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	192	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	526	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー)	径75	84.6	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー)	径100	24.4	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー)	径125	52.5	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー)	径150	38.2	m			

建築工事		外壁改修工事		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
< 外壁石貼面 >						
水洗い	高压ポンプ 10～15MPa程度	120	m ²			
< 外壁タイル貼面 >						
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪藻土塗替改修	1,907	m ²			
水洗い	高压ポンプ 10～15MPa程度	1,907	m ²			
タイル浮き部アンカー ピン部分 珪藻土樹脂 注入工法	アンカーピン 25本/m ² 注入口付アンカーピン等 樹脂注入部養生 施工法	288	m ²			
タイル欠損部張替え 工法	特殊タイル 60×210×15 60×100×15 還元焼成 ST-AGR.SX 国代耐工業所 同等品	100	枚			
タイル面セラミック浸透性 吸水防止材保護工 法	洗浄、上塗り2回、目地下地処理共 タイルセラミック イソナー化研同等品	1,907	m ²			
< 仕上塗材面 >						
施工数量調査 (外壁改修)	仕上塗材改修・腰珪藻土面	2,035	m ²			
既存塗膜面高压温 水洗浄	30～50MPa程度 劣化部除去	1,940	m ²			
既存珪藻土仕上面・ RC素地面水洗い	高压ポンプ 10～15MPa程度	95	m ²			
アンカーピン部分 珪藻土樹脂注入工法	アンカーピン 16本/m ²	10	m ²			
欠損部珪藻土樹脂 注入工法(筒所)	100～200mm角程度,欠損及び露筋 深さ 30mm程度	180	か所			
自動式低圧樹脂注 入工法	ボンドシリング-工法同等 ひび割れ幅1mm以下 壁厚150mm程度	170	m			
Uカットシーリング 材充填工法	10×10mm,シーリング材,樹脂珪藻土仕上	100	m			
下地調整費	C-2 珪藻土 珪藻土系 コンクリート・珪藻土面	95	m ²			
下地調整費	CM-2 珪藻土 珪藻土系 仕上塗材面	1,940	m ²			
スチック塗材塗り	B種	1,702	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	238	m ²			

改修特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所 明石市二見町東二見1836-1

2 敷地面積

3 工事種目 建築一式工事(外壁改修工事)

4 工事内容 工事仕様書のとおり

II 建築改修工事仕様

1 共通仕様

本図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修仕様」という)による。

ただし、改修仕様に規定されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「仕様」という)による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。
 (3) 特記事項に記載の[]の表示番号は、改修仕様の該当項目又は該当表を示す。
 (4) 特記事項に記載の< >の表示番号は、仕様書の該当項目又は該当表を示す。
 (5) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択すること(各項共通事項)。
 (6) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先すること(各項共通事項)。

章	項目	特記事項
I 一般共通事項	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図(社)公共建築協会 最新版) ※ 工事写真の撮り方 建築編(社)公共建築協会 最新版) ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編(社)公共建築協会 最新版)
	② 工事実績情報(サビス(CORINS)の登録)	※ 請負代金額が500万円以上の場合、適用する。 [1.1.4]
	③ 再生資源利用(促進)関係	※ 計画書及び実施書を作成する(Excelデータ可) ※ 建設リサイクル関係法令に基づく通知・届出等の必要がない工事はデータのみ提出
	4 品質計画等	建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※ 防水改修工事 ※ 外壁改修工事 ※ 屋根改修工事 ※ 風速Vo=34m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ※ 積雪区分 H12建告1455号 別表()
	5 電気保安技術者	※ 適用する [1.3.3]
	6 施工条件	工事車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 工事現場内 ・ 工事現場外(資材は工事費に含む) 施工順序の制約 ・ あり [1.3.5] その他の施工条件は、監督職員との協議による。 [1.3.5]

⑦ 発生材の処理等	発注者に引渡しを要するもの ・ 有() ※ 無 [1.3.12] 特別管理産業廃棄物 ・ 有() ※ 無 [1.3.12] 現場において再利用を図るもの ・ 有() ※ 無 [1.3.12] 現場において再資源化を図るもの ・ 有() ※ 無 [1.3.12] ・ 75%以上含有せつこうボードを除く75%以上含有成形板の処分 ※ 埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ ひ素及びカドミウム含有せつこうボードの処理 [1.3.12] ※ 他のせつこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・ 75%以上含有せつこうボード及びひ素、カドミウム含有せつこうボード以外のせつこうボードの処理 [1.3.12] ※ 最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シーリング材の分析調査 ・ 行う [1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う [1.3.12]
⑧ 建築材料等	※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。
⑨ 特別な材料の工法	※ 改修仕様及び仕様書に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
⑩ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※ 図示 [1.5.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 [1.5.3]
11 技能士	[1.6.2]
12 化学物質の濃度測定	測定時期 [1.6.9] ・ 工事着手前 ・ 工事完成時 ・ 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キロリン ※ パラジクロロベンゼン ※ エチルベンゼン ※ スチレン 測定方法 ※ バック採取機器(サンプラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室 () 測定箇所数 ()箇所 化学物質の濃度基準値 ホルムアルデヒド 100 µg/m ³ (0.08ppm) トルエン 260 µg/m ³ (0.07ppm) キロリン 870 µg/m ³ (0.20ppm) パラジクロロベンゼン 240 µg/m ³ (0.04ppm) エチルベンゼン 3800 µg/m ³ (0.88ppm) スチレン 220 µg/m ³ (0.05ppm) ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。
⑬ 完成図等	※ 完成図 [1.8.1~1.8.3][表1.8.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ・ 二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたもの不可) ※ 保単に関する資料 ・ 1部 ※ 2部

14 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・ 二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記) ・ A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込みも可とする。																					
⑮ 工事写真	工事写真の撮影対象 ※ 監督職員と協議 ・ 図示 [1.2.4] デジタルカメラ撮影も可(解像度ほか、監督職員と協議) 記録紙 ※ マット紙 ・ その他() ※ 出来形確認用の完成写真は、工事写真として撮影すること。 下記の完成写真と混同しないこと。																					
16 完成写真	下記のものに監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カラー ・ ハフ切り版 ・ キャビネ版</td> <td>外観()面 内観 各()面</td> <td>※ 1</td> <td>※ 24×36</td> </tr> </tbody> </table> 撮影業者 ・ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ・ 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁 ・ 写真用装飾アルバム(白表紙、金文字) ・ 市販アルバム	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	・ カラー ・ ハフ切り版 ・ キャビネ版	外観()面 内観 各()面	※ 1	※ 24×36													
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																			
・ カラー ・ ハフ切り版 ・ キャビネ版	外観()面 内観 各()面	※ 1	※ 24×36																			
17 設備工事との取り合い	※ 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。																					
18 設計GL	※ 図示 ・ 設計GL=現況GL																					
⑯ 交通誘導員	※ 要(延べ170人) ※ 資格等の要件 ○ 交通誘導員A(1、2級交通誘導警備検定合格者) ○ 交通誘導員B(警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事する者)																					
⑰ 仮設工事	① 足場その他	内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ 枠組脚立 [2.2.1] 外部足場 ○ 枠組本足場(手摺先行) ○ さび緊結式足場(手摺先行) ・ 図示 防護シート等 ※ メッシュシート ・ 防音シート [2.1.3] ・ 防音パネル ・ 図示 ・ 設置しない 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※ 図示 [2.1.3] 外部足場、防護シート等の設置及び範囲 ※ 図示 [2.2.1] 材料、撤去材等の運搬 [2.2.1][表2.2.1] ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ○ E種																				
	2 養生	既存部分の養生 ※ ビニールシート、合板等 ・ 行わない [2.3.1] 既存家具、既存設備等の養生 [2.3.1] ※ ビニールシート等(監督職員の承諾要) ・ 仮撤去、保管(工事完成後、再取付) 既存ブラインド、カーテン等の養生等 [2.3.1] ※ ビニールシート等 ・ 仮撤去、保管(工事完成後、再取付) ・ 図示 ・ 行わない 保管場所、保管方法等 ※ 監督職員との協議による [2.3.1] 固定家具等の移動 ※ 図示 ・ 行わない [2.3.1]																				
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0・5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール ・ せつこうボード(※9.5・12.5)</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仮設扉 ※ 木製 ※ 合板張り程度 仮設扉 ※ 鋼製 ・ 片面フラッシュ程度	種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0・5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール ・ せつこうボード(※9.5・12.5)		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート		
	種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																	
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0・5.5)		・ 無し																		
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール ・ せつこうボード(※9.5・12.5)		・ 片面																		
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																				
4 監督職員事務所	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ () m ² 程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品()																					

⑤ 表示板	※ 設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)	
⑥ 工事用水	構内既存施設 ・ 利用不可 ○ 利用可(・有償 ○ 無償)	
⑦ 工事用電力	構内既存施設 ○ 利用不可 ・ 利用可(・有償 ・ 無償)	
⑧ 仮設物撤去等	※ 原形に復する [2.5.1]	
防水改修工事	① 施工一般	降雨等に対する養生方法 [3.1.3] ※ 3.1.3(5)による ・ 図示
	② 防水改修工事の種類及び工法	施工箇所、種類、工法等 ※ 図示 ・ 下表 [3.1.4][表3.1.1][3.3.2][3.3.3][表3.3.3~10][3.4.2][3.4.3][表3.4.1~3][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~2][3.6.3][表3.6.1~2][3.7.2][3.7.3][表3.7.1]
	③ 既存防水層の処理	(種類、厚さ、露出防水の仕上塗料の種類及び使用量、砂入れなどを記入する) 既存防水層(立上り部等)の撤去 [3.1.4][表3.1.1] ・ 図示 ※ ルーフィング類の製造所の仕様 改修用ドレン ・ 設ける [3.2.5] 既存下地の補修及び処置 [3.2.6] 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 ひび割れ部の処置 ※ 図示 欠損部、浮き部、ぜい弱部の処置 ※ 図示 下地調整材 ※ 図示 ・ C-2 ・ CM-2 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 [3.2.6] (M4AS、M4AS1、M4C、M4D1、L4X工法の場合) ・ 除去する 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 図示 [3.2.6] 架台廻り等の処理 ※ 図示 ・ 監督職員と協議 [3.2.6]
3 75%以上及び改質75%以上防水	改質及び部分粘着層付改質75%以上防水の種類及び厚さ [3.3.2][表3.3.2~3.3.9] ※ 表3.3.3~表3.3.9による ・ 図示 [3.3.2][表3.3.2~3.3.9] ※ 表3.4.1~表3.4.3による ・ 図示 [3.4.2][表3.4.1~3.4.3] 押え金物 ※ 図示 ・ 75%以上製 L-30×15×2.0(mm) 屋根保護防水断熱工法及び屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 [3.3.2][3.4.2] 絶縁用シートに使用する材料 [3.3.2] ※ ポリエチレンフィルム(0.15mm以上) ※ フラットヤーンクロス(70g/m ² 程度) ・ 図示 保護コーティングの種類 ※ 普通コーティング ・ 図示 [3.3.2] 保護コーティングの設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm ² ・ 図示 [3.3.2] 保護コーティングの厚さ ・ 15cm ・ 18cm ・ 図示 [3.3.2] コーティングの種類 ・ I類 ・ II類 ・ 図示 [3.3.2] コーティングの強度試験 ※ 不要 ・ 要 (ただし不要の場合は、JIS A 5308により生産者が行う品質管理の試験結果を監督職員に提出すること) 立上り部の保護の乾式保護材 ・ 図示 [3.3.2] 立上り部の保護のレンガ ※ JIS R 1250による ・ 図示 [3.3.2] 保護コーティングの厚み [3.3.5] ・ 80mm以上(こて仕上げの場合) ・ 60mm以上(床材張り等の仕上げの場合) ・ 図示 屋上排水溝 ・ 適用する	

④ 防水改修工事	4 合成高分子系 ルーフィングシート防水	ルーフィングシートの種類及び厚さ [3.5.2][表3.5.1~3] ※ 第2項の表による ・ 図示 絶縁層シートの材質 ※ 発泡ポリイソシアネート ・ 図示 [3.5.2] 固定金具の材質、形状及び寸法 [3.5.2] ※ 防錆処理鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの ・ 図示 断熱工法（機械的固定工法）に用いる断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 断熱工法（接着工法）に用いる断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 機械的固定工法の場合の建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 [3.5.4] ・ 適用する（計算書、固定金具割付図、アウター試験報告書等提出）
	5 塗膜防水	新規防水層の種類及び工程 [3.6.3] ※ 第2項の表による ・ 図示 PIY工法及びP2Y工法における保護層 ※ 適用する [3.6.3]
	6 脱気装置 (各種防水共通)	設置箇所 種類 設置数量 ・ 平場 ・ ポリイソシアネート ・ ABS樹脂 ※ 主材料の製造所の仕様による。 ・ ステンレス ・ 鋼鉄 ・ () mに1箇所 ・ 立上り ・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ※ 主材料の製造所の仕様による。 ・ ステンレス ・ 鋼 ・ () mに1箇所
	7 防水保証 (各種防水共通)	※ 三者連名による防水保証期間 ※ 10年 ・ 5年 ※ 保証開始日は、「工事完成日の翌日」とする。
⑤ 防水保証 (各種防水共通)	8 防水保証 施工確認	※ アクリル板(200×150×3.0)にエッチング文字書き込み、SUS17留め ※ 工事名称、受注者名、施工業者名、使用材料メーカー名、防水種別、商品(工法)名、施工箇所、保証期限を明記 ※ 取付箇所は、監督職員との協議による。
	9 シーリング	種類及び施工箇所 ※ 表3.7.1による ・ 図示 [3.7.2][表3.7.1] 目地寸法 ※ 3.7.3による ・ 図示 [3.7.3] 2成分シリコン材のプライング ※ 不要 [3.7.4] シリコン材の接着性試験 [3.7.8] ・ 行う(※ 簡易接着試験 ・ 引張接着性試験)
	10 とい	といの材種等 ※ 図示 [3.8.2][表3.8.1] とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※ 表3.8.2による ・ 図示 [3.8.2][表3.8.2] 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 [3.8.3] ※ 図示 鋼管製といの防露巻き [3.8.3] ※ 表3.8.4による ・ 図示 ルーフトレンドの取付け ※ 図示 [3.8.3]
	11 アルミニウム製 笠木	構成部材による種類 [3.9.2] ・ フランジ形(押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 ・ 板材折曲げ形) ・ シール形(板材折曲げ形) 板材折曲げ形の場合の笠木本体幅 ※ 図示 [3.9.2] 板材折曲げ形の場合の笠木本体厚 ※ 2.0mm ・ 図示 笠木本体の材料の表面処理 [3.9.2][表5.2.2] ・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種 ・ BA-1種 ・ BA-2種 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種 既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の下の補修の工法 ※ 図示 [3.9.3] 笠木(板材折曲げ形)の取付け方法 ※ 図示 [3.9.3] 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法における固定金具 ※ 図示 [3.9.3]
④ 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※ 外壁改修範囲全面 ・ 図示 [1.5.2] ※ 調査内容 目視及び打音調査等により、ひび割れ、欠損、浮き等、劣化種別ごとに色分け、付番し、幅、長さ、範囲、ピン本数等を壁面に表示の上、写真及び集計表等を調査報告書として整理し、提出すること。併せて、ひび割れ部の挙動、漏水及び錆汁の有無を調査する。 (壁面への表示方法及び写真撮影方法は、集計表との比較が容易に行えるよう工夫すること) 調査報告書の提出部数 ※ 1部
	2 外壁改修工法の種類と適用	施工箇所、施工内容、数量等及び上記の施工数量調査に基づき、適切な改修工法の選定を行い、監督員と協議の上、適用範囲を決定し、施工すること。 なお、設計と大幅な差異が認められた場合は、事前に監督職員と協議すること。

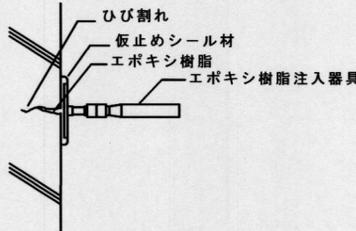
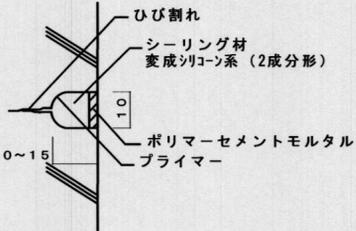
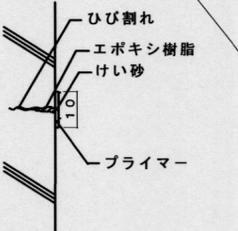
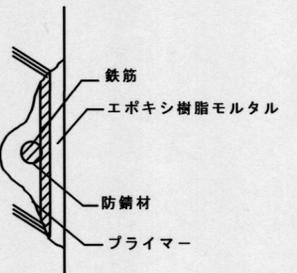
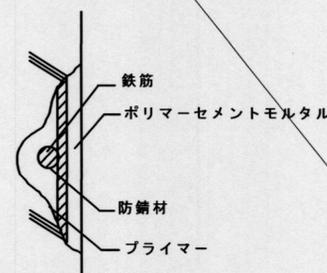
③ 材料	樹脂注入工法に使用するエポキシ樹脂 [4.2.2] ・ 低粘度形(ひび割れ幅0.5mm未満) ・ 中粘度形(ひび割れ幅0.5mm以上) Uカットシール材充填工法用材料 [4.2.2] ・ シーリング材(・ PU-1 ・ PU-2 ・ 図示) ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントモルタル シール工法用材料 [4.2.2] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 充填工法用材料 [4.2.2] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ 無収縮モルタル(コンクリート躯体部分) アンカーピンニング注入工法用材料 [4.2.2] ※ エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントスラリー ※ アンカーピン(※ ステンレス鋼、呼び径(外径)4mm程度 ・ 図示) 注入口付アンカーピンニング注入工法用材料 [4.2.2] ※ エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントスラリー ※ アンカーピン(※ ステンレス鋼、呼び径(外径)6mm程度 ・ 図示) モルタル塗替え工法用材料 [4.2.2] ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料 ・ 既製目地材(形状は図示) タイル張替え工法及びタイル部分張替え工法接着剤 [4.2.2] ・ ポリマーセメントモルタル ・ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特注色の別等 ※ 図示 [4.2.2] 役物の適用 ・ 適用する [4.2.2] タイルの試験張り ・ 行う [4.2.2] タイルの見本焼き ・ 行う [4.2.2] タイル張替え工法の張付けモルタル [4.2.2] ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料 塗り仕上げ用材料 [4.2.2] 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法 ※ 図示 [4.2.2] 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性 [4.2.2] ※ 耐候形3種 ・ 図示 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材 [4.2.2] ※ 水系アクリルのつやあり ・ 図示 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状 [4.2.2] ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 外壁用塗膜防水材の仕上げの工法 [4.2.2] ・ 吹付け ・ ローラー 外壁用仕上塗料の耐候性 [4.2.2] ※ JIS A 6909の耐候性1種 ・ 図示 樹脂注入工法(ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満に適用) [4.3.4] 注入工法の種類 呼び割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(cc/m) 備考 ・ 自動式低圧 E ₁ 樹脂注入 0.2以上1.0未満 ※ 200~300 ※ 40~130 ・ 手動式 E ₂ 樹脂注入 0.2以上0.3未満 ※ 50~100 ※ 40 E ₃ 樹脂注入 0.3以上0.5未満 ※ 50~100 ※ 70 ・ 機械式 E ₄ 樹脂注入 0.5以上1.0未満 ※ 150~250 ※ 130 ひび割れ部の注入状況の確認方法 [4.3.4] ※ 外壁改修仕様書による ・ コア抜き取り(※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 図示) 抜き取り部分の補修方法 ※ 図示 [4.3.4] Uカットシール材充填工法 [4.3.5] ※ 幅0.2mm以上1.0mm未満の挙動があるひび割れ及び幅1.0mm超のひび割れに適用 シール工法 [4.3.6] ※ 幅0.2mm未満の微細なひび割れに適用 充填工法 [4.3.7] ※ 欠損部及び脆弱部を除去した部分に適用 ・ 露防部の防錆処理 ※ 要 ・ 防錆材(※ 防錆ペースト ・ 図示)
④ コンクリート 打放し仕上げ 外壁改修	ひび割れ部の注入状況の確認方法 [4.3.4] ※ 外壁改修仕様書による ・ コア抜き取り(※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 図示) 抜き取り部分の補修方法 ※ 図示 [4.3.4] Uカットシール材充填工法 [4.3.5] ※ 幅0.2mm以上1.0mm未満の挙動があるひび割れ及び幅1.0mm超のひび割れに適用 シール工法 [4.3.6] ※ 幅0.2mm未満の微細なひび割れに適用 充填工法 [4.3.7] ※ 欠損部及び脆弱部を除去した部分に適用 ・ 露防部の防錆処理 ※ 要 ・ 防錆材(※ 防錆ペースト ・ 図示)

⑤ モルタル塗り 仕上げ外壁改修	ひび割れ、欠損及び浮き部改修 [4.4.1~15] モルタル塗り劣化部の処理 [4.4.8] ・ 撤去(モルタル中木部分) 1) m ² 非撤去 モルタル撤去部及び欠損部の補修方法 [4.4.9] ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 モルタルの仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ 図示 [4.4.9] 浮き部改修(撤去を除く部分) [4.4.10~15] 種類 アンカーピン本数(本/m ²) 注入口の数(箇所/m ²) アンカーピン部分 一般部 指定部 一般部 指定部 E ₁ 樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ・ アンカーピン全面 E ₂ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ アンカーピン全面 E ₃ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ リマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピン部分 E ₄ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₅ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₆ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 注入量はE ₁ 樹脂が25ml/穴、E ₂ リマーセメントスラリーが50ml/穴とする。 ※ ひび割れ部におけるその他の工法(浮き部を除く非撤去部) ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ひび割れ、欠損及び浮き部改修 [4.5.1~16] E ₁ 樹脂及びE ₂ 樹脂のはつり撤去により露出したコンクリートの表面又はE ₃ 樹脂の表面のひび割れ部の改修工法 [4.5.2] ・ 樹脂注入工法 ・ 自動式低圧 E ₁ 樹脂注入工法 ・ 手動式低圧 E ₂ 樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 タイル張りを撤去しない場合の改修工法 [4.5.2] ・ 樹脂注入工法 ・ 自動式低圧 E ₁ 樹脂注入工法 ・ 手動式低圧 E ₂ 樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 タイル張替え工法 [4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 表4.5.1による ・ 図示 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法 ※ 3.7.3による ・ 図示 外装E ₁ 張り下地等の下地E ₂ 及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・ 行う [4.5.8] 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 [4.5.8] ・ 目荒し工法 ・ 図示 タイルの種類及び工法 [4.5.8] ・ 外装E ₁ (・ 密着張り ・ 改良種上げ張り ・ 改良種張り) ・ エコE ₂ (・ 張り張り ・ E ₃ 張り張り) 有機系接着剤によるタイル張り [4.5.8] シーリング材の種類 ・ E ₁ リン酸系シリコン材(打雑目地及びひび割れ誘発目地) ・ 変成シリコン系シリコン材(伸縮調整目地その他の目地) タイルの種類 ・ 外装タイル ・ ユニタイル 浮き部改修(撤去を除く部分) [4.5.9~15] 種類 アンカーピン本数(本/m ²) 注入口の数(箇所/m ²) アンカーピン部分 一般部 指定部 一般部 指定部 E ₁ 樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ・ アンカーピン全面 E ₂ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ アンカーピン全面 E ₃ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ リマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピン部分 E ₄ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₅ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₆ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₇ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 注入量はE ₁ 樹脂が25ml/穴、E ₂ リマーセメントスラリーが50ml/穴とする。 目地改修工法 [4.5.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示
⑥ E ₁ 張り仕上げ 外壁改修	ひび割れ、欠損及び浮き部改修 [4.5.1~16] E ₁ 樹脂及びE ₂ 樹脂のはつり撤去により露出したコンクリートの表面又はE ₃ 樹脂の表面のひび割れ部の改修工法 [4.5.2] ・ 樹脂注入工法 ・ 自動式低圧 E ₁ 樹脂注入工法 ・ 手動式低圧 E ₂ 樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 タイル張りを撤去しない場合の改修工法 [4.5.2] ・ 樹脂注入工法 ・ 自動式低圧 E ₁ 樹脂注入工法 ・ 手動式低圧 E ₂ 樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 タイル張替え工法 [4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 表4.5.1による ・ 図示 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法 ※ 3.7.3による ・ 図示 外装E ₁ 張り下地等の下地E ₂ 及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・ 行う [4.5.8] 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 [4.5.8] ・ 目荒し工法 ・ 図示 タイルの種類及び工法 [4.5.8] ・ 外装E ₁ (・ 密着張り ・ 改良種上げ張り ・ 改良種張り) ・ エコE ₂ (・ 張り張り ・ E ₃ 張り張り) 有機系接着剤によるタイル張り [4.5.8] シーリング材の種類 ・ E ₁ リン酸系シリコン材(打雑目地及びひび割れ誘発目地) ・ 変成シリコン系シリコン材(伸縮調整目地その他の目地) タイルの種類 ・ 外装タイル ・ ユニタイル 浮き部改修(撤去を除く部分) [4.5.9~15] 種類 アンカーピン本数(本/m ²) 注入口の数(箇所/m ²) アンカーピン部分 一般部 指定部 一般部 指定部 E ₁ 樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ・ アンカーピン全面 E ₂ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ アンカーピン全面 E ₃ 樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・ リマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピン部分 E ₄ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₅ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₆ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ 注入口付アンカーピン全面 E ₇ 樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 注入量はE ₁ 樹脂が25ml/穴、E ₂ リマーセメントスラリーが50ml/穴とする。 目地改修工法 [4.5.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示

⑦ 塗り仕上げ外壁等 改修	既存塗膜のアスベスト含有調査 ・ 行う(検体) 所要量等の確認方法 [4.6.2] ※ 単位面積当たりの使用量による(防水形仕上塗材の場合) 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整 [4.6.3][表4.6.2~表4.6.5] 工法 処理範囲 備考 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 20~50MPa程度 ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 実績等の資料を提出 ・ 水洗工法 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 ・ 超高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 50MPa以上 下地調整 種類 呼び名(適用下地) 塗厚(mm) 主な適用仕上材 ・ セメント系下地調整塗材C-1 下地調整塗材C-1 0.5~1.0 内・外装用薄塗材E ・ セメント系下地調整塗材C-2 下地調整塗材C-2 1.0~3.0 全ての仕上塗材 ・ 合成樹脂エポキシ系下地調整塗材 下地調整塗材E 0.5~1.0 内・外装用薄塗材E ・ セメント系下地調整厚塗材 下地調整塗材CM-1 3.0~10.0 内・外装用薄塗材E ・ セメント系下地調整厚塗材 下地調整塗材CM-2 3.0~10.0 全ての仕上塗材 ※ セメント系下地調整塗材は、結合材としてセメント及びセメント混和用E ₁ リマーデンプン又は再乳化形粉末樹脂を混合したもの。 ※ 合成樹脂エポキシ系下地調整塗材は、結合材として合成樹脂エポキシを使用したもの。 工法 [4.6.5] 種類 呼び名 工法 仕上げの形状 施工箇所 ・ 外装薄塗材Si 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 可とう形 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 外装薄塗材Si 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 可とう形 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 外装薄塗材E 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 可とう形 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 外装薄塗材E 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 外装薄塗材S 吹付け 砂壁状 ・ 外装厚塗材C 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 可とう形 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 外装厚塗材Si 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 外装厚塗材E 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 復層塗材CE 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 復層塗材Si 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 復層塗材E 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 復層塗材RE 吹付け 砂壁状 ・ 凸部処理 ・ 復層塗材RS 吹付け 砂壁状 ・ ゆず肌状 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性 [4.2.2] ※ 耐候形3種 ・ 図示 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材 [4.2.2] アクリル系 シリコン系 E ₁ リン酸系 E ₂ リン酸系 ふっ素系 あり なし なし あり なし あり なし あり なし つや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ワザク ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 溶剤 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 弱溶剤 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 水系 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ マスチック塗材塗りの種別 ・ A種 ・ B種 [4.7.2] 下地挙動緩衝材の適用 ・ 適用する [4.8.2][表4.6.2] 8 外壁用塗膜 防水材仕上げ
------------------	---

7 塗装改修工事	① 下地調整	塗替えで下地調整の種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 塗替え面積の30% ・ 図示 [7.2.1] [7.2.2~7][表7.2.1~7]	9 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り [7.11.2]	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面等 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りの種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>下地調整の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具面)</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート面、押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード面、その他のボード面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	下地調整の種別	・ 木部	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 鉄鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具面)	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ コンクリート面、押出成形セメント板面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ せっこうボード面、その他のボード面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	10 ウレタン樹脂 ワニス塗り [7.12.2][表7.12.1]	種別 ・ A種 ※ B種			
	下地の種類	下地調整の種別																							
	・ 木部	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ 鉄鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具面)	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
	・ コンクリート面、押出成形セメント板面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																							
・ せっこうボード面、その他のボード面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																								
	② 錆止め塗料塗り	鉄鋼面錆止め塗料塗り [7.3.2][7.3.3][表7.3.1][表7.3.3] 材料の種別 ※ A種 ※ B種 (仕上げがEP-Gの場合) 工法の種別 ※ A種 (見え掛り) ※ B種 (見え隠れ) ※ C種 (塗替え) ・ 図示 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り [7.3.2][7.3.3][表7.3.2][表7.3.4] 材料の種別 ※ A種 ・ B種 ※ C種 (仕上げがEP-Gの場合) 工法の種別 ※ A種 (新規鋼製建具等) ・ B種 ※ C種 (塗替え)	11 オイルステイン 塗り [7.13.2]	塗料の種類 ※ 図示																					
	3 合成樹脂調合 調合ペイント塗り	塗料の種類 ※ 1種 ・ 図示 [7.4.2] 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工法の種別 [7.4.3][表7.4.1] (新規塗装) ※ A種 (屋外) ※ B種 (屋内) ・ C種 (塗替え) ・ A種 ※ B種 ・ C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工法の種別 [7.4.4][表7.4.2] ・ A種 ※ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工法の種別 [7.4.5][表7.4.3] ※ A種 (鋼製建具塗替え) ※ B種 (その他の塗替え及び新規) ・ C種	12 木材保護塗料 塗り [7.14.2][表7.14.1]	種別 ・ A種 ※ B種																					
	4 クリアー塗り	種別 ・ A種 ※ B種 [7.5.2][表7.5.1]																							
	5 アクリル樹脂系 非水分散形 塗料塗り	種別 ・ A種 ※ B種 [7.7.2][表7.7.1]																							
	⑥ 耐候性塗料塗り	鉄鋼面耐候性塗料塗りの種別 [7.8.2][表7.8.1] ・ A種 (B種) ・ C種 鉄鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料の等級 ※ 図示 (1級 (ふっ素) ・ 2級 (シリコン) ・ 3級 (シリコン)) 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りの種別 [7.8.3][表7.8.2] ・ A種 (B種) ・ C種 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料の等級 ※ 図示 (1級 (ふっ素) ・ 2級 (シリコン) ・ 3級 (シリコン)) コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 [7.8.4][表7.8.3] ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																							
	7 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント塗り	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 [7.9.2][表7.9.1] ・ A種 ※ B種 ・ C種 塗替えの場合のしみ止め (種別がB種又はC種の場合) ※ しみ止めシーター ・ 図示 塗替えの場合のしみ止め (種別がA種の場合) ※ 図示 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 [7.9.3][表7.9.2] ※ A種 (新規塗装) ※ B種 (塗替え) ・ C種 屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 [7.9.4][表7.9.3] ・ A種 ※ B種 ・ C種 屋内の亜鉛めっき鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 [7.9.5][表7.9.4] ・ A種 ※ B種 ・ C種																							
	⑧ 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.10.2][表7.10.1] 塗替えの場合のしみ止め (種別がB種又はC種の場合) ※ しみ止めシーター [7.9.2][7.10.2] ・ 図示 塗替えの場合のしみ止め (種別がA種の場合) ※ 図示																							

○ コンクリート打ち放し仕上げ外壁

① ひび割れ部（樹脂注入工法）	② ひび割れ部（Uカット・シーリング材充填工法）	③ ひび割れ部（シーリング工法）	④ 欠損部（充填工法）	
<p>① 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>① 汚れの除去 ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを解除する。</p> <p>② マーキング 注入孔位置を200～300mm間隔でチョーク等でマーキング。</p> <p>③ 注入パイプ取付 注入器具または台座を、ひび割れが中心になるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。</p> <p>④ 仮止めシール ひび割れに沿って仮止めシール材をパテヘラ等で幅30mm、厚さ2mm程度にシールする。</p> <p>⑤ エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂の注入。注入圧を4kg/cm²以下として注入。</p> <p>⑥ 養生 完了後は、注入器具を取り付けたまま養生養生を行う。</p> <p>⑦ 清掃 硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を撤去し清掃する。</p> <p>⑧ 検査 コア抜き取りにより行い、ひび割れ長さ500mmまでは3個、それを超える場合は500mm毎又はその端数につき1個のコアを採取し、形状は径50mm・深さ70mmとする。</p> 	<p>② シーリング用材料充填工法</p> <p>① Uカット ひび割れに沿って電動カッター等で幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。</p> <p>② 溝内の清掃 Uカット溝内部に付着している切片・粉塵等は、ワイヤーブラシ等で除去する。</p> <p>③ プライマーの塗布 プライマーを溝内部に塗り残しの無い様に塗布する。</p> <p>④ サンプリング 2成分形シーリング材を用いる場合は、各ロット毎にサンプリングを行う。</p> <p>⑤ シーリング材充填 シーリング材を充填し、へらで押さえ、下地と密着させて表面を平滑に仕上げます。</p> <p>⑥ シーリング材充填 シーリング用材料の上にポリマーセメントモルタルを充填する場合は、シーリング用材料の先端は、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填する。</p> <p>⑦ ポリマーセメントモルタル塗り ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面にあわせて平滑に塗り込む。</p> <p>⑧ 養生 降雨等からについても養生し、硬化後は充填部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。</p> 	<p>③ ひび割れ部（シーリング工法）</p> <p>① 可とう性エポキシ樹脂シーリング工法</p> <p>① 汚れの除去 ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを解除する。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ シール ひび割れに沿って可とう性エポキシ樹脂をパテヘラ等で幅10mm、厚さ2mm程度に塗布する。</p> <p>④ けい砂の散布 補修部の上に仕上げ塗材・塗料等を施工する場合は、充填後、表面にけい砂を散布する。</p> <p>⑤ 養生 硬化するまでは、降雨等からも養生する。</p> <p>⑥ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> 	<p>④ 欠損部（充填工法）</p> <p>① エポキシ樹脂モルタル充填工法</p> <p>① 欠損部下地調整 欠損部周辺の脆弱部分をハンマー等で取り除き、部分的に露筋している部分は、健全部が露出するまでコンクリートをはつきり、けれんにより錆を除去し、防錆処理を行う。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ 球砂樹脂モルタル充填 プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタル充填し、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げます。</p> <p>④ 養生 仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。</p> <p>⑤ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> <p>⑥ 検査 充填材の仕上がり状態及び硬化状態を目視及び指触により確認し、承諾を受ける。</p> 	
<p>⑤ 欠損部（充填工法）</p> <p>⑤ ポリマーセメントモルタル充填又は塗り付け工法</p> <p>① 欠損部下地調整 欠損部周辺の脆弱部分をハンマー等で取り除き、部分的に露筋している部分は、健全部が露出するまでコンクリートをはつきり、けれんにより錆を除去し、防錆処理を行う。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ ポリマーセメントモルタル充填 はがれの状況により、1～3層に分けて充填又は塗り付ける。各層の設厚は7mm程度とし、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げます。</p> <p>④ 養生時の養生 各層間、急激な乾燥は避け、適切な養生を行う。</p> <p>⑤ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> <p>⑥ 養生 硬化するまでは、降雨等からも養生する。</p> <p>⑦ 検査 充填材の仕上がり状態及び硬化状態を目視及び指触により確認し、承諾を受ける。</p> 				
<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図中 ③・⑤ は、地震災害復旧工事においては、単独では適用しない。 	<p>課長</p> <p>担当課長</p> <p>係長</p> <p>担当</p> <p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	<p>製作年月日</p> <p>2022年4月</p>	<p>工事名称 工事成績優良業者対象工事</p> <p>ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事</p> <p>図面名称 外壁改修仕様(1)</p> <p>縮尺</p>	<p>内 4</p> <p>全業 18</p>

○モルタル塗り仕上げ外壁

- ⑥ ひび割れ部（モルタルを撤去する場合／躯体①，モルタル塗替）
- ⑦ ひび割れ部（モルタルを撤去する場合／躯体②，モルタル塗替）
- ⑧ ひび割れ部（モルタルを撤去しない場合／樹脂注入工法(=1)）
- ⑨ ひび割れ部（モルタルを撤去しない場合／Uカットシール材充填工法(=2)）
- ⑩ 欠損部（躯体・モルタル塗替／充てん工法）

⑥ ひび割れ部（モルタルを撤去する場合／躯体①，モルタル塗替）

① モルタルの撤去
② ひび割れの確認
③ ひび割れの改修
④ 下地面の清掃
⑤ 剥離除去部の補修

ひび割れを中心に幅100mm程度のモルタルを「付帯」等で健全部分と縁を切り、はつり撤去する。
撤去後、露出したひび割れを確認する。
コンクリート躯体の改修は、○樹脂注入工法①による。
デッキブラシ等で水洗いを行う。
欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填（塗替）工法⑤に準ずる。

躯体のひび割れ改修は①樹脂注入工法による。

⑦ ひび割れ部（モルタルを撤去する場合／躯体②，モルタル塗替）

① モルタルの撤去
② ひび割れの確認
③ ひび割れの改修
④ 下地面の清掃
⑤ 剥離除去部の補修

ひび割れを中心に幅100mm程度のモルタルを「付帯」等で健全部分と縁を切り、はつり撤去する。
撤去後、露出したひび割れを確認する。
コンクリート躯体の改修は、○Uカットシール材充填工法②による。
デッキブラシ等で水洗いを行う。
欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填（塗替）工法⑤に準ずる。

躯体のひび割れ改修は②Uカットシール材充てん工法による。

⑧ ひび割れ部（モルタルを撤去しない場合／樹脂注入工法(=1)）

① ひび割れの改修

モルタルを撤去しない場合
○樹脂注入工法①による。

ひび割れ
仮止めシール材
エポキシ樹脂注入器具
エポキシ樹脂

⑨ ひび割れ部（モルタルを撤去しない場合／Uカットシール材充填工法(=2)）

① Uカット
② 溝内の清掃
③ プライマーの塗布
④ サンプリング
⑤ シーリング材充填
⑥ 8'リマセメントモルタル塗り
⑦ 養生

シーリング用材料充填工法
ひび割れに沿って電動カッター等で幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。
Uカット溝内部に付着している切片・粉塵等は、ワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
プライマーを溝内部に塗布し、溝の隅隅に塗布する。
2成分形シーリング材を用いる場合は、各ロット毎にサンプリングを行う。
シーリング用材料の充填は、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填し、へらで押さえ、下地と密着させて表面を平らに仕上げとする。
ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面にあわせて平滑に塗り込む。
降雨等からについても発生し、硬化後は充填部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。

ひび割れ
シーリング材
変成シリコン系（2成分形）
ポリマーセメントモルタル
プライマー

⑩ 欠損部（躯体・モルタル塗替／充てん工法）

① 周辺モルタルの撤去
② 下地面の清掃
③ 剥離除去部の補修

欠損部周辺のモルタル厚き部分は、「付帯」等で健全部分と縁を切り、はつり撤去する。
デッキブラシ等で水洗いを行う。
欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填（塗替）工法⑤による。

鉄筋
防錆材
プライマー
エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル
周辺厚き部は健全部分と縁を切り撤去

⑪ 欠損部（モルタル塗のみ／モルタル塗替）

① 周辺モルタルの撤去
② 下地面の清掃
③ 剥離除去部の補修

欠損部周辺のモルタル厚き部分は、「付帯」等で健全部分と縁を切り、はつり撤去する。
デッキブラシ等で水洗いを行う。
欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填（塗替）工法⑤に準ずる。

周辺厚き部は、健全部分と縁を切り撤去
エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル
プライマー

⑫ 浮き部（モルタル塗替）

① モルタルの撤去
② 下地面の清掃
③ 剥離除去部の補修

浮き部は、「付帯」等で健全部分と縁を切り、はつり撤去する。
デッキブラシ等で水洗いを行う。
欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填（塗替）工法⑤に準ずる。

周辺厚き部は、健全部分と縁を切り撤去
プライマー
エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル

⑬ 浮き部（ピンニング）

① 浮き部の確認
② アカビンの穿孔
③ 孔内の清掃
④ 球状樹脂充填
⑤ アカビンの挿入
⑥ 養生
⑦ 清掃
⑧ 検査

アカビンの部分球状樹脂注入工法
浮き部により浮き部を確認し、アカビン等の位置を明示する。
構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。
孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。
エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。
アカビンのネジ切り部分に球状樹脂を塗布してからアカビンを最深部まで挿入する。
挿入孔は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。
仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。
注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。
全数テストハンマーの打診により行う。

アンカーピン
パテ状エポキシ樹脂
エポキシ樹脂

⑭ 浮き部（ピンニング）

① 浮き部の確認
② アカビンの穿孔
③ 孔内の清掃
④ 球状樹脂充填
⑤ アカビンの挿入
⑥ 養生
⑦ 注入孔の穿孔
⑧ 球状樹脂注入
⑨ 養生
⑩ 清掃
⑪ 検査

アカビンの全面球状樹脂注入工法
浮き部により浮き部を確認し、アカビン等の位置を明示する。
構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。
孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。
エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。
アカビンのネジ切り部分に球状樹脂を塗布してからアカビンを最深部まで挿入する。
挿入孔は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。
仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。
注入孔の穿孔を、構造体コンクリート中に、5mm程度の深さまで行う。
エポキシ樹脂を、残存厚部に打診しながら注入する。
注入孔は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。
注入後、24時間程度養生を行う。
注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。
アカビン周辺部・注入部及びその周辺500mm程度にわたり、打診によって行う。

パテ状エポキシ樹脂
エポキシ樹脂
パテ状エポキシ樹脂
アンカーピン

⑮ 浮き部（ピンニング）

① 浮き部の確認
② アカビンの穿孔
③ 孔内の清掃
④ 球状樹脂充填
⑤ アカビンの挿入
⑥ 養生
⑦ 注入孔の穿孔
⑧ 8'リマセメント注入
⑨ 養生
⑩ 清掃
⑪ 検査

アカビンの全面8'リマセメント注入工法
浮き部により浮き部を確認し、アカビン等の位置を明示する。
構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。
孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。
エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。
アカビンのネジ切り部分に球状樹脂を塗布してからアカビンを最深部まで挿入する。
挿入孔は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。
仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。
注入孔の穿孔を、構造体コンクリート中に、5mm程度の深さまで行う。
8'リマセメントを、残存厚部に打診しながら注入する。
注入孔は、8'リマセメントで平滑に仕上げる。
注入後、3日間程度養生を行う。
注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。
アカビン周辺部・注入部及びその周辺500mm程度にわたり、打診によって行う。

ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントスラリー
パテ状エポキシ樹脂
アンカーピン

特記事項	・図中④・⑤に、準ずるとするのは、④・⑤の工程から①を除いたものとする。	担当課長	担当	製作年月日	2022年4月	工事名称	工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事	内	5
				図面名称	外壁改修仕様(2)	縮尺		全業	18

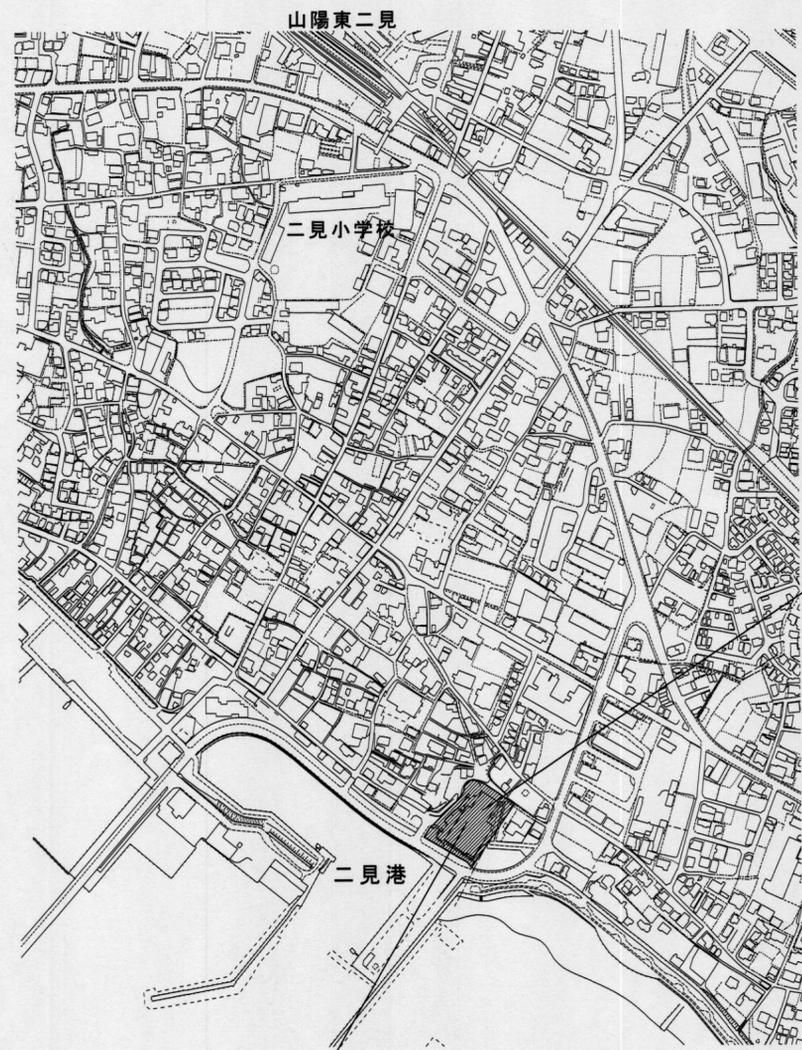
建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。(参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行 建築材料等評価名簿)

名称・品名		会社名		名称・品名		会社名		
防水工事	アスファルト及び改質アスファルトシート	・七王工業㈱ ・日新工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・東亜工業㈱ ・昭石化工㈱ ・㈱ARセンター		塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱ ・日本ペイント㈱ ・大日本塗料㈱ ・ロックペイント㈱ ・㈱トウベ ・大同塗料㈱ ・神東塗料㈱ ・大谷塗料㈱		
	合成樹脂系ルーフィングシート	・三菱ベルト㈱ ・シバタ工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱ ・ニッタ化工品㈱ ・アサヒゴム㈱			吹付塗装	・菊水化学工業㈱ ・エスケー化研㈱ ・AGCコーテック㈱ ・関西ペイント㈱ ・日本ペイント㈱ ・神東塗料㈱ ・大日本塗料㈱ ・㈱ハマキャスト(天然石調)		
		塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・アーキヤマテ㈱ ・ロンシール工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱ ・早川ゴム㈱		内外装工事	フローリング	・大建工業㈱ ・朝日ウッドテック㈱ ・㈱ウッドワン ・天龍木材㈱ ・永大産業㈱ ※県産木材の指定があれば木工事の項による。	
	塗膜防水(塗布)	ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱ ・ニッタ化工品㈱ ・三菱ベルト㈱ ・AGCポリマー建材㈱			ビニル床タイル	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱エービーシー商会 ・㈱サンゲツ	
		ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業 ・日新工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・東亜工業㈱ ・㈱ウオータイト			ビニル床シート	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱エービーシー商会 ・タキロンシーアイ㈱ ・㈱サンゲツ	
		ケイ酸質系及びポリマーセメント系・EVA系	・大関化学工業㈱ ・昭和電工建材㈱ ・大日化成㈱ ・ユニオン建材工業㈱			カーペット	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱サンゲツ ・㈱ミノエ ・アスワン㈱	
	シーリング	・コニシ㈱ ・セメダイン㈱ ・サンスター技研㈱ ・日本シーカ㈱ ・横浜ゴム㈱		クロス		・リリカラ㈱ ・㈱サンゲツ ・㈱シンコール ・東リ㈱ ・㈱ミノエ		
※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。				メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱ ・イビケン㈱ ・日本デコラックス㈱			
石工事	石	・関ヶ原石材㈱ ・矢橋大理石㈱ ・神戸大理石工業㈱ ・㈱池西石材		岩綿吸音板	・大建工業㈱ ・東洋テックス㈱ ・吉野石膏㈱			
	人工大理石	・㈱アドヴァン ・㈱エービーシー商会 ・アイカ工業㈱ ・㈱シブタニ						
タイル工事	タイル	・㈱LIXIL ・㈱ダントー ・KYタイル㈱ ・TOTO㈱ ・ニッタイ工業㈱		ユニット及びその他の工事	カーテン・舞台幕	・㈱ミノエ ・アスワン㈱ ・㈱川島織物セルコン ・㈱シンコール ・東リ㈱ ・㈱サンゲツ		
木工事	兵庫県産木材	・兵庫県木材業協同組合連合会(兵庫県木産産木材供給部会)会員メーカーによる。			流し台	・ナスラック㈱ ・㈱LIXIL ・タカラスタンダード㈱ ・㈱トーヨーキッチンスタイル		
屋根・樋工事	金属板	・JFE鋼板㈱ ・㈱淀川製鋼所 ・日鉄住金鋼板㈱ ・元且ビューティー工業㈱ ・三晃金属工業㈱			シャワーユニット	・TOTO㈱ ・㈱LIXIL ・パナソニック㈱ ・日ポリ化工㈱		
	シングル	・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱			教育施設用家具	・㈱西尾家具工芸社 ・㈱内田洋行		
	塩化ビニル製樋	・ケイミュー㈱ ・三菱ケミカルインフラテック㈱ ・タキロンシーアイ㈱ ・積水化学工業㈱			ブラインド	・立川ブラインド工業㈱ ・㈱ニチベイ ・トーソー㈱		
金属工事	アルミ笠木EXP. Jカバー	・㈱エービーシー商会 ・理研軽金属工業㈱ ・三協立山㈱ ・㈱バラキャップ社 ・カネソウ㈱		舞台装置	・㈱博電舎 ・㈱シネマ工房 ・㈱オーエス ・日本スクリーン㈱			
	天井・床点検口	・ナカ工業㈱ ・理研軽金属工業㈱ ・㈱ダイケン		屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱ ・㈱丸橋鉄工(代理店㈱カンサイ) ・セノー㈱			
	グレーチングステンレス金物排水金物等	・カネソウ㈱ ・㈱ニムラ ・福西鋳物㈱ ・㈱中部コーポレーション		体育器具	・セノー㈱ ・㈱小川長春館 ・㈱ニシオカ ・日本体器㈱			
	建築物(手摺・ノステップ)見切金物等	・ナカ工業㈱ ・ワイエム工業㈱ ・ケージーバルテック㈱ ・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱ ・㈱ナスタ ・㈱ダイケン ・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和) ・㈱アシスト		フェンス	・JFE建材㈱ ・朝日スチール工業㈱ ・日鉄建材㈱			
建具工事	シャッターオーバーヘッドドア	・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・東洋シャッター㈱ ・金剛産業㈱		防球ネット	・塚本商事機械㈱ ・朝日スチール工業㈱ ・㈱アスノ ・㈱センターサービス			
	自動ドア開閉駆動装置	・ナプテスコ㈱ ・扶桑電気工業㈱			外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック ・菊水化学工業㈱ ・ショーボンド建設㈱ ・大成工材㈱ ・㈱伏見工業	
	鍵	・㈱ゴール ・美和ロック㈱		ピンネット工法【施工】		・コニシ㈱(ボンドカボピンネット) ・㈱リノテック(ネットリノ) ・全日本外壁ピンネット工業協同組合(ネットネット) ※第三者賠償責任		
	ハンガードア	・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・㈱くろがね工作所 ・小松ウォール工業㈱ ・コマニー㈱		75%以上含有塗材等除去工法【施工】		・ダイオーテック㈱(パキムアラスト) ・㈱マルホウ(ウオーグリーン) ・㈱アシレ(パキムウオーグリーン) ※集塵装置付除去工法		
	スライディングウォール	・㈱ニチベイ ・立川ブラインド工業㈱ ・コマニー㈱ ・小松ウォール工業㈱						
	トイレブース	・コマニー㈱ ・小松ウォール工業㈱ ・信越ファインテック㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・文化シャッター㈱						
	ガラス	・AGC㈱ ・セントラル硝子㈱ ・日本板硝子㈱						
	ガラスブロック	・日本電気硝子㈱(電気硝子建材㈱)						
	スクールパーテーション(鋼製軽量建具)	・コマニー㈱ ・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・小松ウォール工業㈱						
	防煙垂壁	・AGC㈱ ・セントラル硝子㈱ ・日本板硝子㈱ ・㈱ミヨシ ・三和シャッター工業㈱ ・文化シャッター㈱						

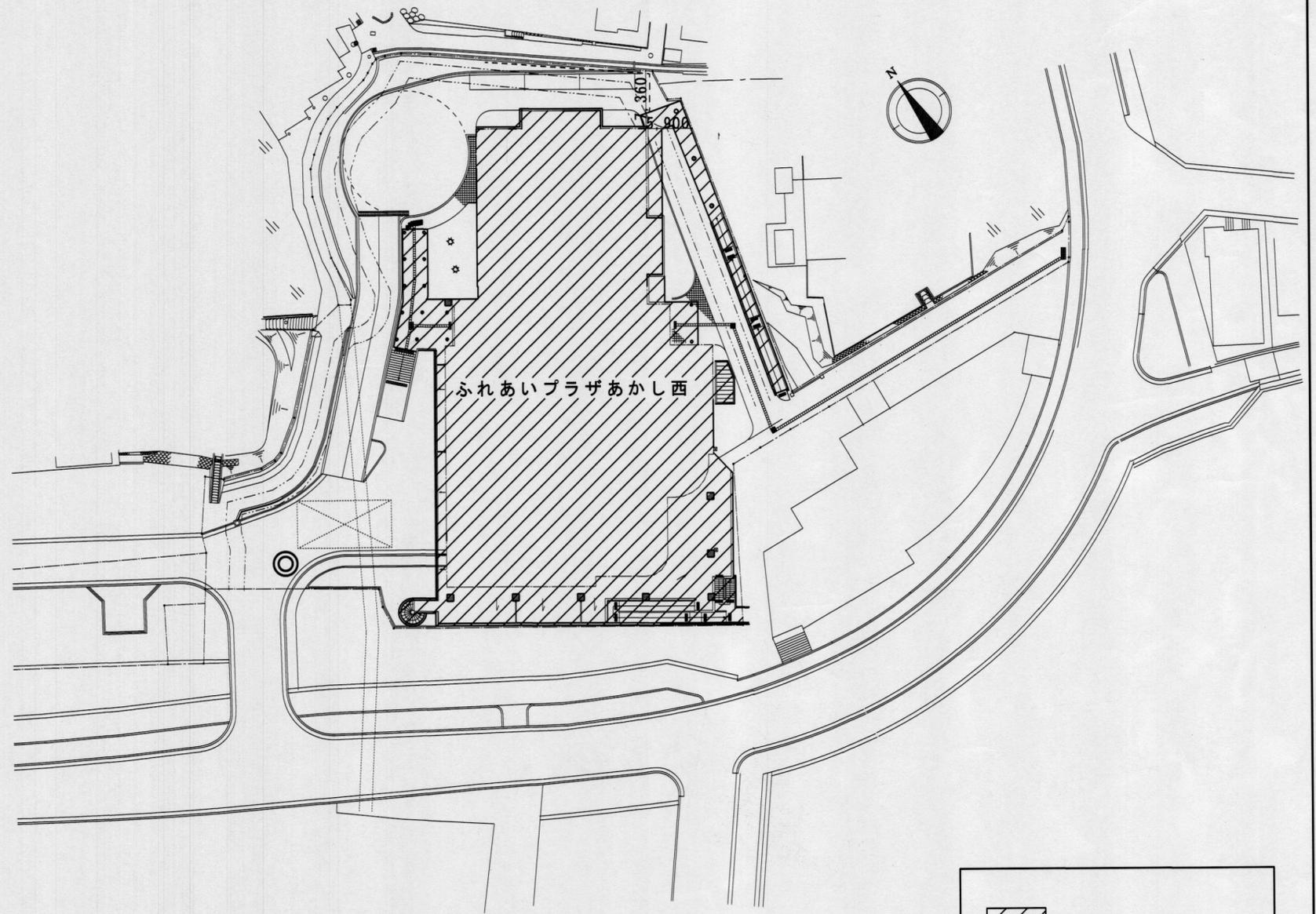
令和4年(2022年)改訂

特記事項	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事	内	6
	 明石市都市局住宅・建築室営繕課				2022年4月	図面名称	建築工事メーカーリスト	縮尺	全業 18



工事場所：ふれあいプラザあかし西
(明石市二見町東二見1836-1)

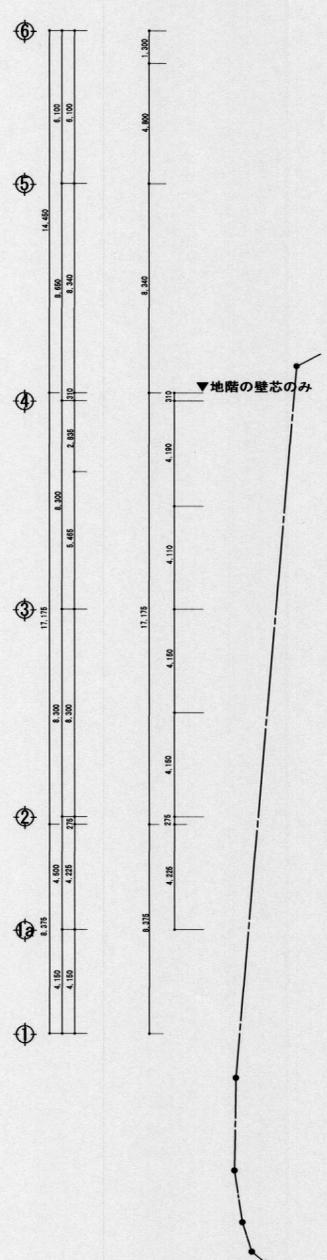
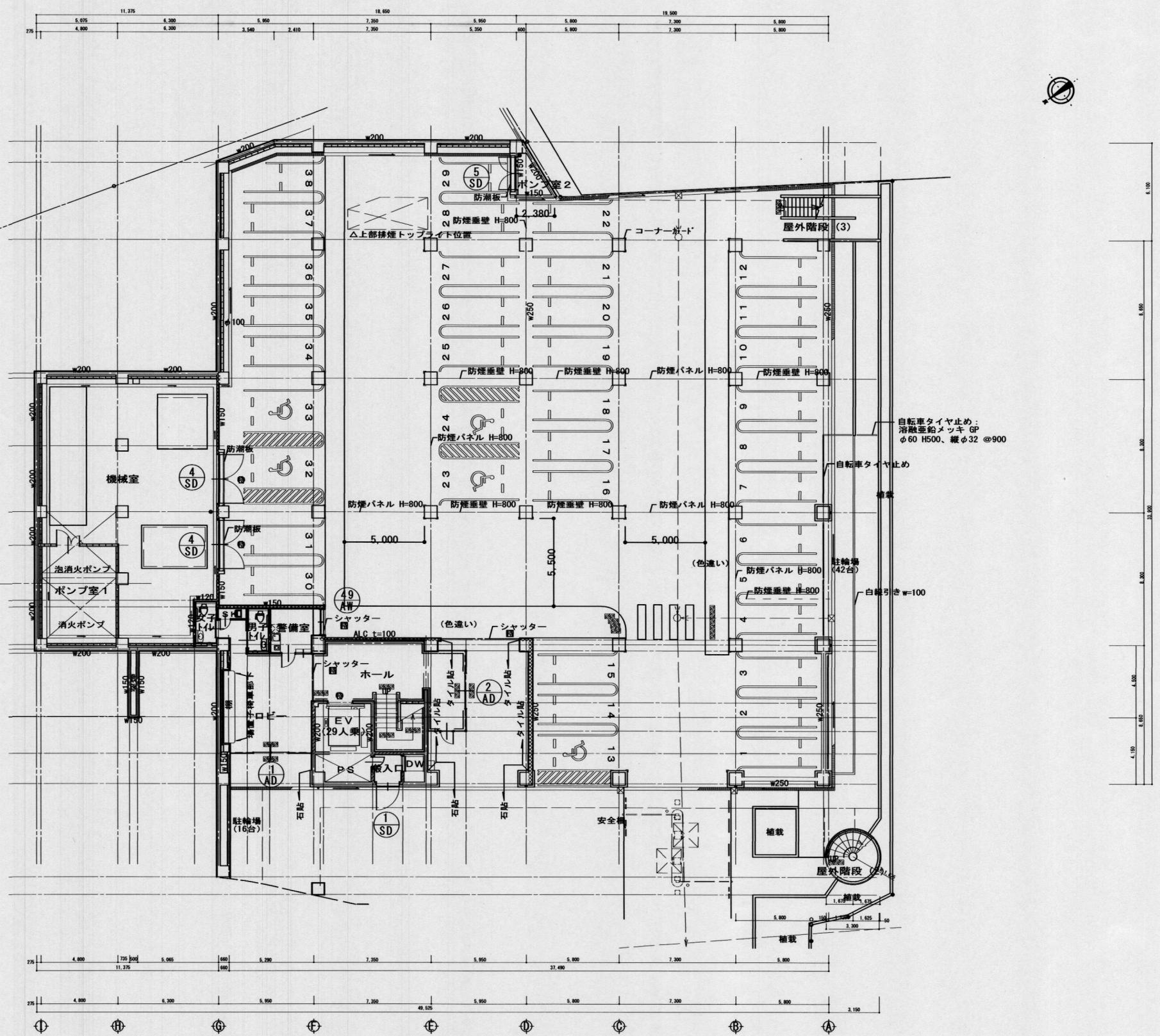
付近見取り図 1/5000



 工事範囲 (足場全周)
 交通誘導員 (常駐)
 仮囲い (建物全周) 鋼板製H=2000 280m
 (資材置き場一部) フェンスリケートH=180 30m

配置図 1/500

特記事項	 課長  担当課長  係長  担当  櫻井	製作年月日 2022年3月	工事名称 工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁改修工事	内 7
			図面名称 付近見取り図・配置図	縮尺 1/5000・1/500
 明石市都市局住宅・建築室営繕課				

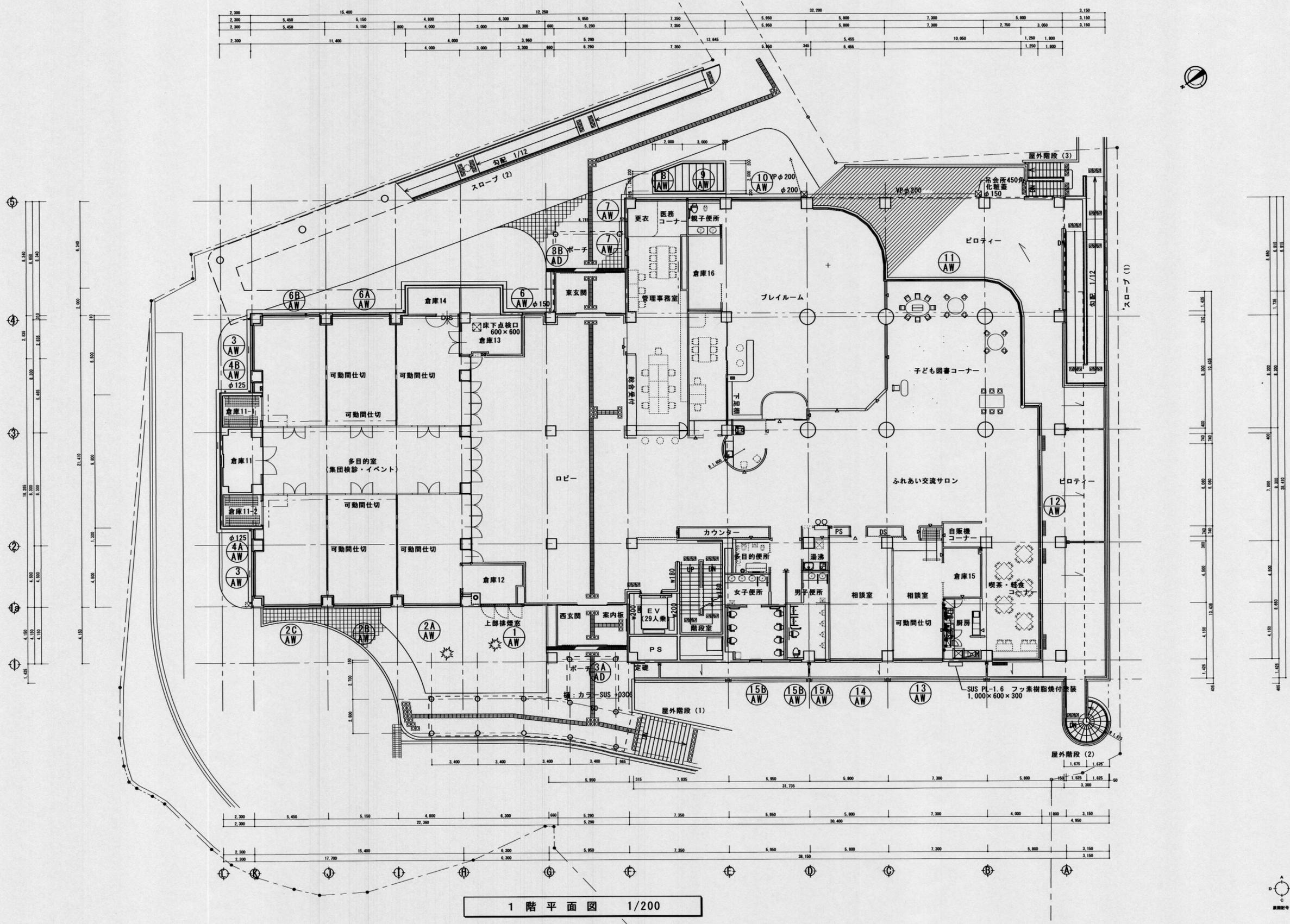


地下1階平面図 1/200

A
D
C
B
展開記号

特記事項・足場は、施設利用者動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

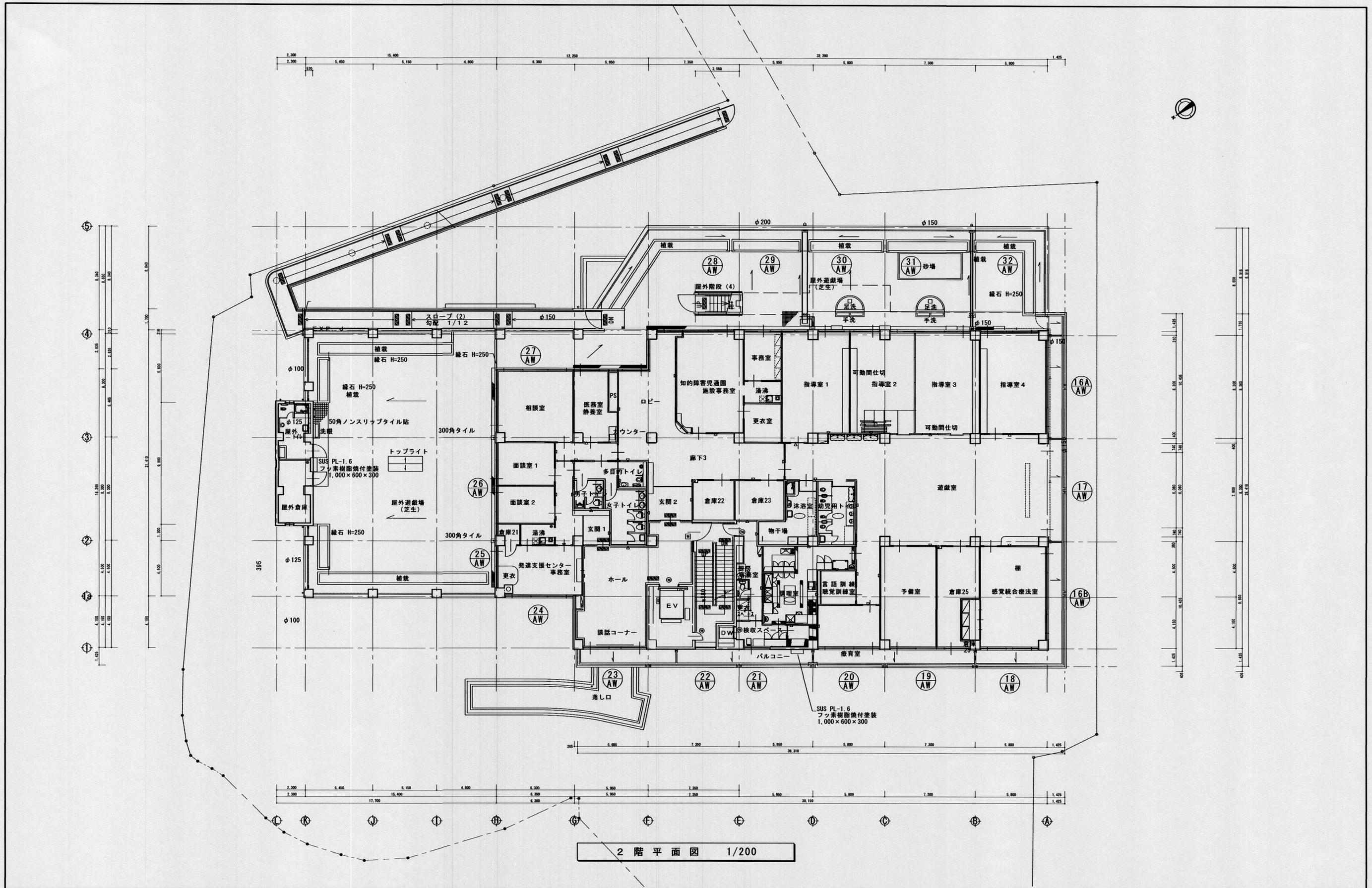
課長 藤田 担当 高橋 担当 櫻井 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2022年4月	工事名称 工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事 図面名称 地下1階平面図	内 8 全業 18
	縮尺 1/200		



1階平面図 1/200

特記事項・足場は、施設利用者動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

担当  係長  担当 	製作年月日 2022年4月	工事名称 工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事 縮尺 1/200	内 9 全業 18
明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 1階平面図	



2階平面図 1/200

特記事項・足場は、施設利用者動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

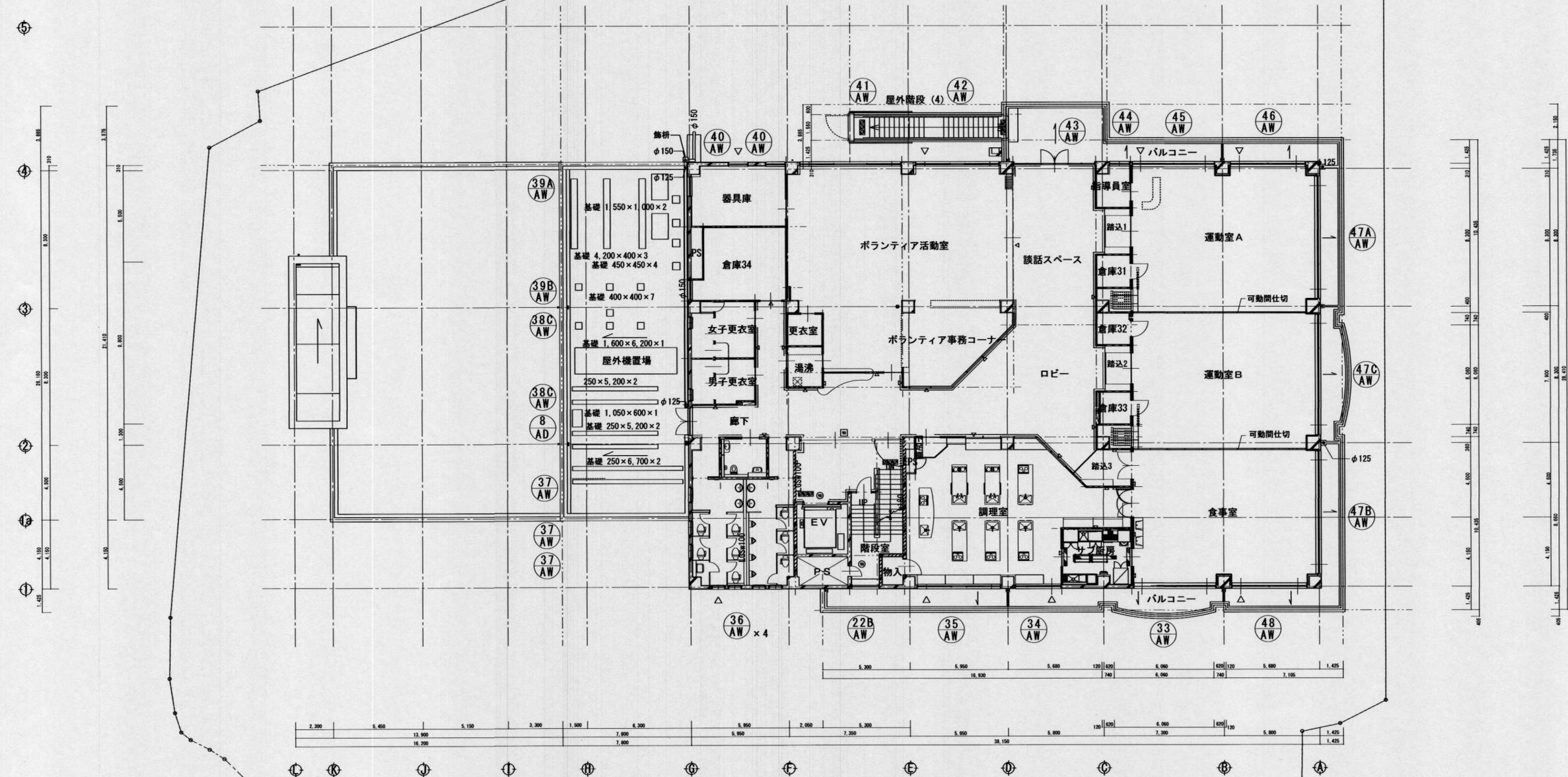
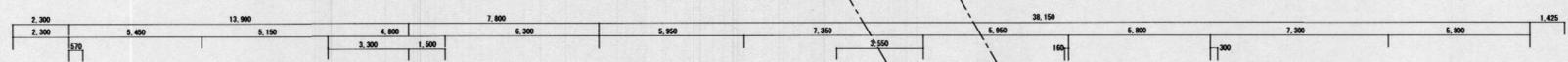
課長	担当課長	係長	担当
 明石市都市局住宅・建築室営繕課			

製作年月日
2022年4月

工事名称 工事成績優良業者対象工事
ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事

図面名称 2階平面図
縮尺 1/200

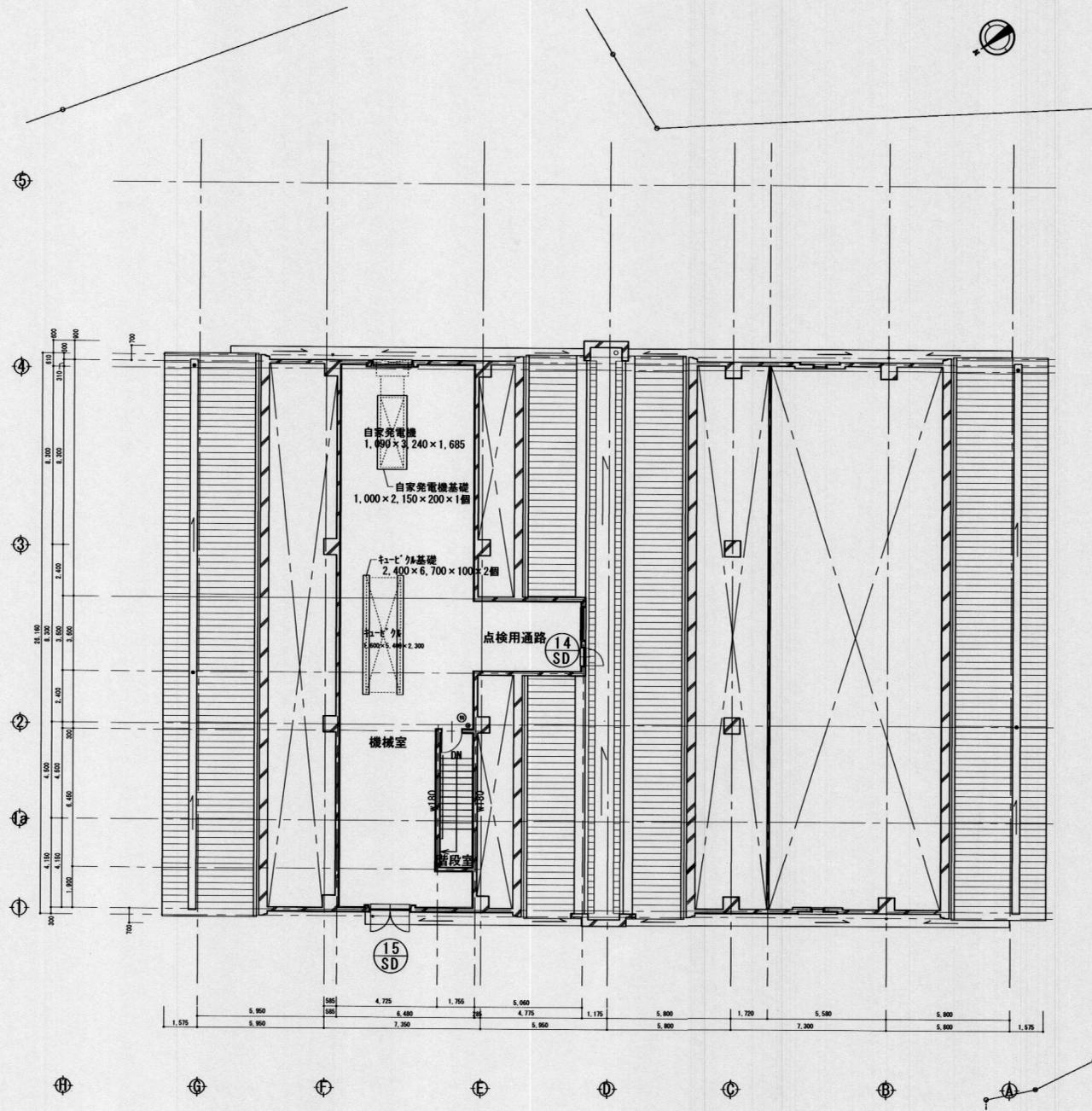
内 10
全葉 18



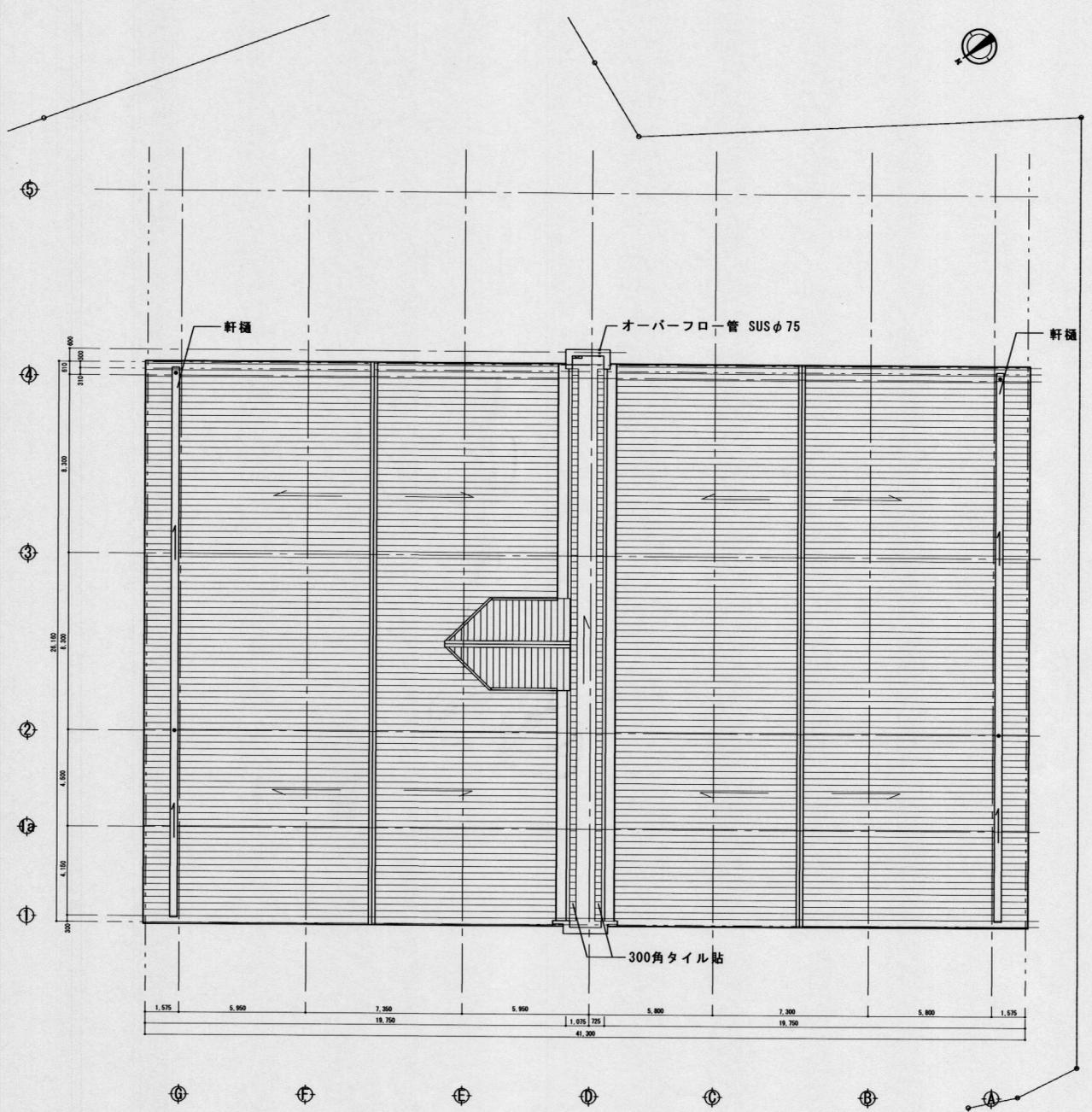
3階平面図 1/200

特記事項・足場は、施設利用者動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内 11 全葉 18
					2022年4月	工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事 図面名称 3階平面図 縮尺 1/200	

明石市都市局住宅・建築室営繕課



屋階平面図 1/200



屋根伏図 1/200

特記事項・足場は、施設利用者動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

課長

担当課長

係長

担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日

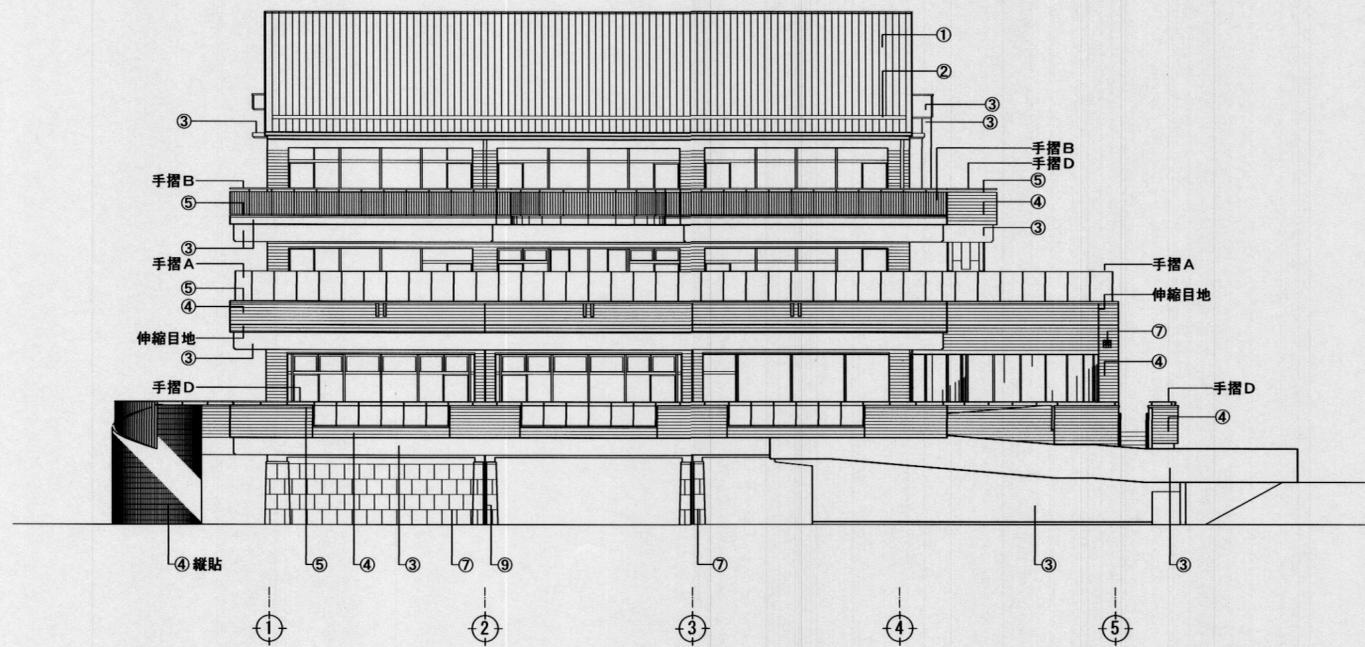
2022年4月

工事名称 工事成績優良業者対象工事
ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事

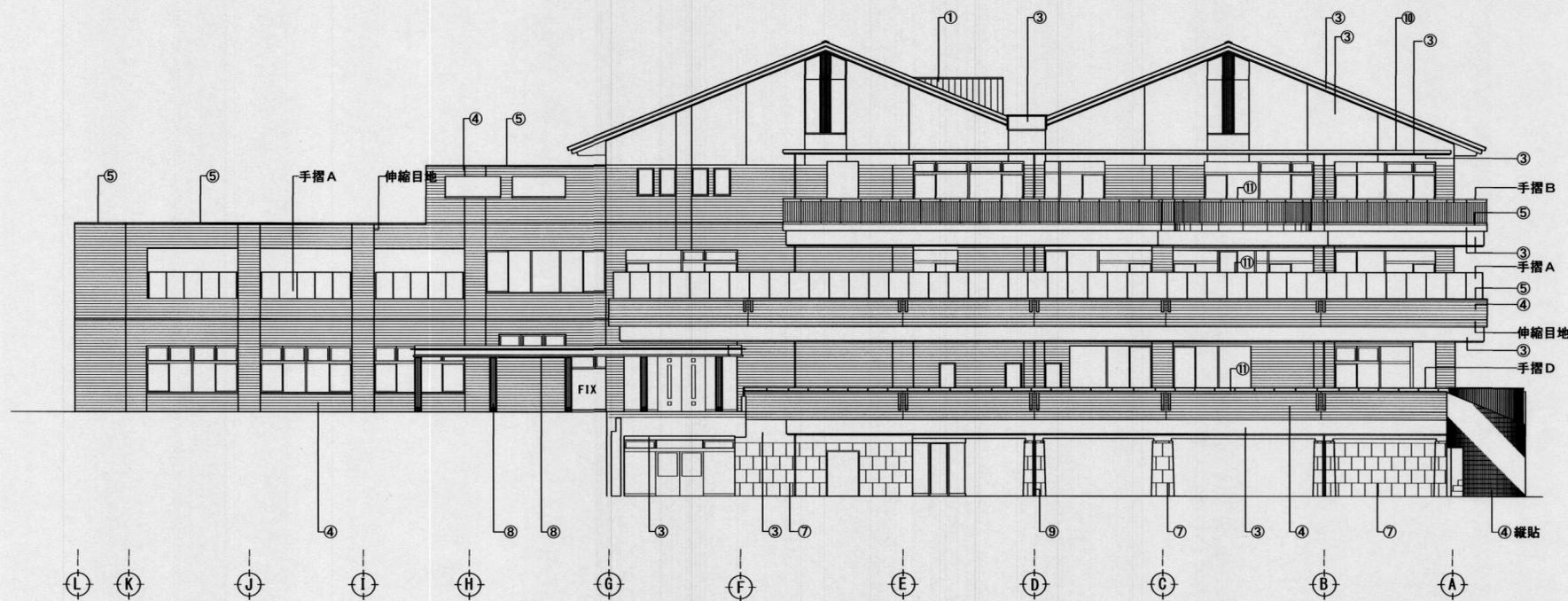
図面名称 屋階平面図 屋根伏図 縮尺 1/200

内 12

全葉 18



南側立面図 1/200



西側立面図 1/200

外壁改修 参考数量表

改修内容	数量
外壁面事前調査 (タイル面・打診確認・マスキング・計測・図面・報告書提出)	1,907㎡
外壁面事前調査 (目視・打診確認・マスキング・計測・図面・報告書提出)	1,910㎡
既存タイル面高圧水洗 (10~15MP汚れ除去)	1,907㎡
既存塗膜面高圧水洗 (30~50MP・劣化部除去)	1,940㎡
既存タイル仕上げ面・RC素地面高圧水洗 (10~15MP汚れ除去)	95㎡
タイル浮き部70ホビノン®部分⑩®樹脂注入工法 (25穴/㎡)	288㎡
タイル欠損部張替え工法	100枚
タイル浮き部70ホビノン®部分⑩®樹脂注入工法 (16穴/㎡)	10㎡
欠損部⑩®樹脂モルタル充填工法 (タイル欠損部・500~600□×t60程度/ヶ所)	180箇所
ひび割れ部エポキシ樹脂低圧注入工法	170m
ひび割れ部Uカットシーリング®材充填工法	100m
既存仕上塗材面下地補修 (CM-2・珪酸系)	1,940㎡
既存仕上塗材面下地補修 (C-2・珪酸系)	95㎡
既存タイル面⑩®浸透性吸水防止材塗	1,907㎡
外壁マスキング塗材	1,702㎡
外壁薄塗材E	238㎡
軒裏EP塗り替え	1,633㎡
谷樋カケ防水 (X-2) 平場※既存防水面の下地調整はC-1 (珪酸系)	17.9㎡
谷樋カケ防水 (X-2) 立上※既存防水面の下地調整はC-1 (珪酸系)	33.3㎡
庇・バルコニーカケ防水 (X-2) 平場※既存防水面の下地調整はC-1 (珪酸系)	339㎡
庇・バルコニーカケ防水 (X-2) 立上※既存防水面の下地調整はC-1 (珪酸系)	100㎡
タイル伸縮目地シーリング® 打替え (PS-2・25×15)	586m
打継目地シーリング® 打替え (PS-2・25×15)	284m
タイル他部取合いりシーリング® 打替え (PS-2・15×10)	51.8m
既存建具廻りシーリング® 打替え (MS-2・15×10) ※水切り目地共	1,758m
防水端末シーリング® 打替え (MS-2・15×10)	192m
金物取合シーリング® 打替え (MS-2・15×10)	526m
縦樋取替え カラVP	204m

凡例 (既存仕上げを示す)

- ① 平瓦葺
- ② 軒樋カケ防水
- ③ コンクリート打放しの上マスキング塗
- ④ 珪酸質タイル2丁掛 イギリス貼 (一部縦張)
- ⑤ アルミ笠木
- ⑥ 珪酸質タイル 100角 t=25
- ⑦ 石貼
- ⑧ アルミパネル t=2.0 フッ素樹脂焼付塗装
- ⑨ 縦樋 VP EP塗
- ⑩ 庇FRP防水
- ⑪ バルコニーカケ防水

特記事項・補修工法については、使用材料等によりタイル面を汚損しないように適切な養生又は、工法を選定し監督員の承諾の上、
 ・施工すること。
 ・足場は、施設利用者及び施設関係車両等の動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

明石市都市局住宅・建築室営繕課

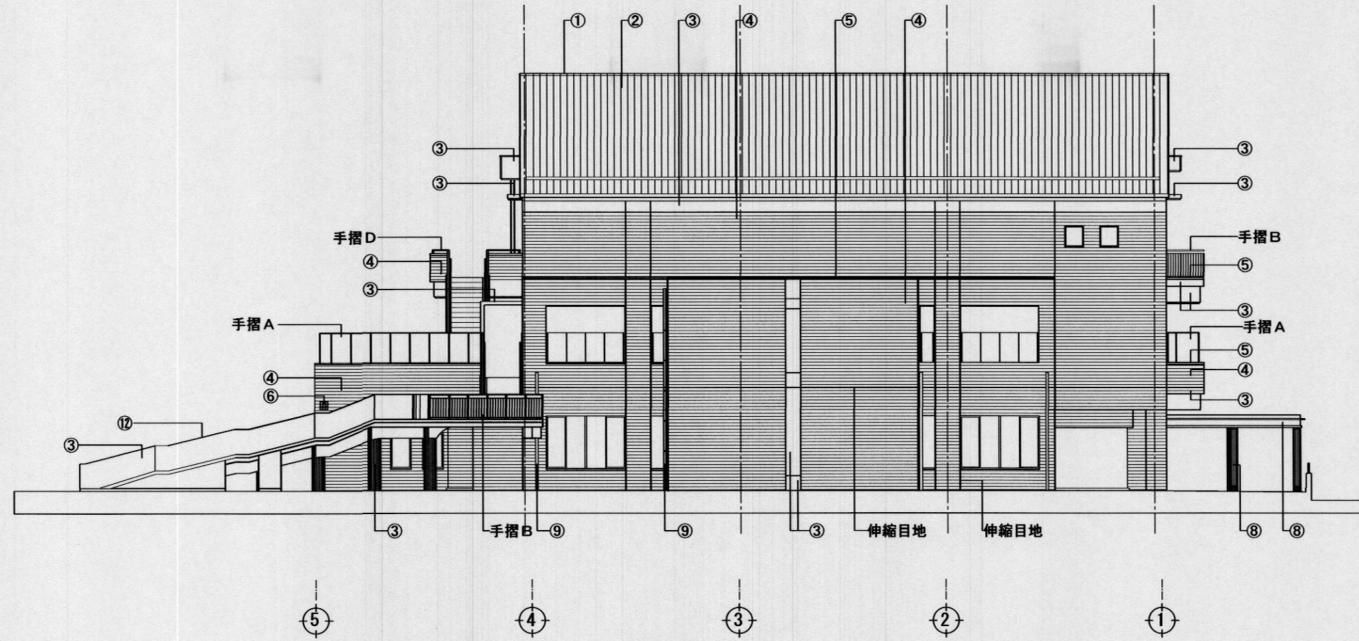
製作年月日
2022年4月

工事名称 工事成績優良業者対象工事
ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事
図面名称 南側立面図・西側立面図
縮尺 1/200

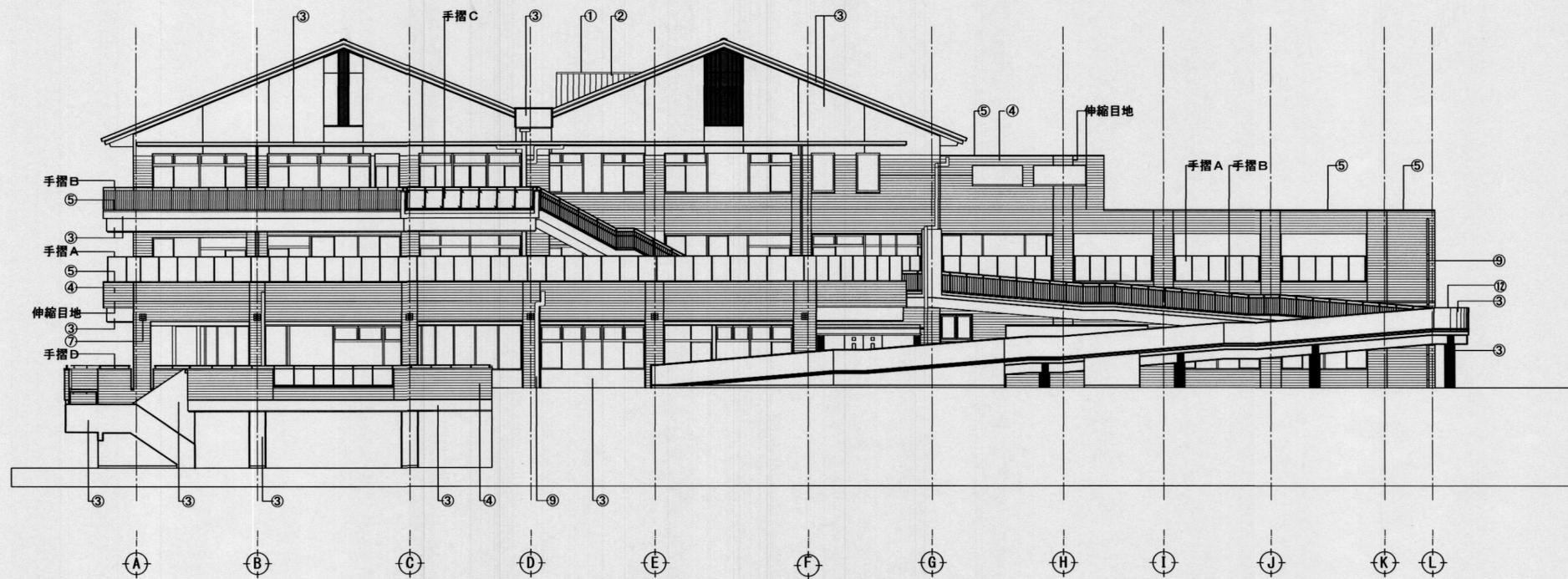
内 13
全業 18

凡例 (既存仕上げを示す)

- ① 平瓦葺
- ② 軒樋レタ防水
- ③ コンクリート打放しの上マスチック塗
- ④ 珧器質タイル 2丁掛 イギリス貼 (一部縦張)
- ⑤ アルミ笠木
- ⑥ 珧器質タイル 100角 t=25
- ⑦ 石貼
- ⑧ アルミパネル t=2.0 フッ素樹脂焼付塗装
- ⑨ 縦樋 VP EP塗
- ⑩ 底FRP防水
- ⑪ バルコニーレタ防水



北側立面図 1/200



東側立面図 1/200

特記事項・補修工法については、使用材料等によりタイル面を汚損しないように適切な養生又は、工法を選定し監督員の承諾の上、
 ・施工すること。
 ・足場は、施設利用者及び施設関係車両等の動線を考慮し、施設側と相談の上、安全に通行出来る開口を適宜設けること。

課長  担当課長  係長  担当 
明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日
2022年4月

工事名称 工事成績優良業者対象工事
ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事
図面名称 北側立面図・東側立面図
縮尺 1/200

内 14
全業 18

符号	数量	① AW	② AW	③ AW	④ AW	⑤ AW	⑥ AW	⑦ AW	⑧ AW
形状									
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70
場所	1F ロビー	1F 多目的室	1F ロビー	1F 管理事務室	1F 管理事務室				
ガラス	IG3	IG3	IG3	IG1	IG3	IG3	IG3	IG3	IG3
金物	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2						
備考	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ 衝突防止シール	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ

符号	数量	⑨ AW	⑩ AW	⑪ AW	⑫ AW
形状					
見込	70	70	70	70	70
場所	1F 親子トイレ	1F フレイルーム	1F 子ども図書コーナー、ふれあい交流サロン	1F 喫茶・軽食コーナー	1F 喫茶・軽食コーナー
ガラス	IG2	IG3	特記無きはIG3、※:IG6	特記無きはIG3、※:IG4、※:IG6	特記無きはIG3、※:IG4、※:IG6
金物	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2
備考	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ、衝突防止シール ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠	後扉ガラス用サッシ、衝突防止シール ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠

符号	数量	⑬ AW	⑭ AW	⑮ AW	⑯ AW	⑰ AW	⑱ AW	⑲ AW	⑳ AW
形状									
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70
場所	1F 相談室兼会議室兼保育室	1F 相談室兼会議室兼保育室	1F 男女トイレ	2F 図書室4	2F 読書結合図書室	2F 読書室	2F 読書結合図書室	2F 予備室、倉庫25	2F ムーブメント
ガラス	特記無きはIG3、※:IG4	特記無きはIG3、※:IG4	IG2	特記無きはIG3、※:IG4	特記無きはIG3、※:IG4	IG3	IG3	IG3	IG3
金物	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式
備考	後扉ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠	後扉ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ

符号	数量	㉑ AW	㉒ AW	㉓ AW	㉔ AW	㉕ AW	㉖ AW
形状							
見込	70	70	70	70	70	70	70
場所	2F 読書スペース	2-3F 南控室	2F 読書コーナー	2F 会議センター事務室	2F 会議センター事務室	2F 読書室1・2、倉庫21	2F 相談室、読書室・静読室、ロビー
ガラス	IG3	IG3、※IG4(3Fのみ)	IG3	IG3	IG3	IG3	特記無きはIG3、※:IG4、※:IG5
金物	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式	二、AP、付属金物一式 OP2	二、AP、付属金物一式 OP2
備考	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ	後扉ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠	後扉ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠	後扉ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠

<ul style="list-style-type: none"> 二 二重水切 AP アンゴラビス A アルミ樹脂 S スチール樹脂 DG2 ドアチェック(ストッパーなし) H 丁番 N 鍵芯(ノブ) K(赤) 赤塗装 K(白) ホテル塗 K(黒) 黒塗装 	<ul style="list-style-type: none"> F フラッシュ CB カーテンボックス(スチール製) DC1 ドアチェック(ストッパー付) DG2 ドアチェック(ストッパーなし) DC3 ドアチェック(コンシールドタイプ) DS ドアストッパー K(黒) 黒塗装 K(白) 白塗装 K(赤) 赤塗装 K(青) 青塗装 	<ul style="list-style-type: none"> FH フロアヒンジ GH グラビティヒンジ LH ライトヒンジ OH オートヒンジ PH ビボットヒンジ OPH1 オートビボットヒンジ(ストッパー付) OPH2 オートビボットヒンジ(ストッパーなし) 	<ul style="list-style-type: none"> DH ドアハンドル CH ケースハンドル OP1 オペレーター(フック式) OP2 オペレーター(ワンタッチ開閉) PH 降子戸 FD ふすま戸 TB トイレブース CW カーテンウォール 	<ul style="list-style-type: none"> WD 木製ドア AD アルミドア SD スチールドア OP2 オペレーター(ワンタッチ開閉) PD 降子戸 FD ふすま戸 TB トイレブース CW カーテンウォール 	<ul style="list-style-type: none"> WW 木製ガラリ AW アルミ窓 SW スチール窓 SSD スチレンス窓 PD 降子戸 FD ふすま戸 TB トイレブース CW カーテンウォール 	<ul style="list-style-type: none"> WG 木製ガラリ AG アルミガラリ SG スチールガラリ SSG スチレンスガラリ SS スチールシャッター SSS スチレンスシャッター SSP スチール開閉切 ASP アルミ開閉切 	<ul style="list-style-type: none"> P フロート板ガラス F 樹脂ガラス T 強化ガラス NP 網入樹脂ガラス NF 網入樹脂ガラス SSG スリガラス 	<ul style="list-style-type: none"> HG 熱線吸収ガラス HWG 熱線吸収膜入りガラス CHG 熱線反射ガラス SCHG 真性熱線反射ガラス IG ベアガラス(A-6) FSG フロストガラス 	<ul style="list-style-type: none"> F RP FRP板・手板 PS ポリカーボネート板 AS アクリル板 STG スチンドグラス GB ガラスブロック FTG 耐熱強化ガラス(低放射)
--	---	---	---	--	--	--	---	---	---

特記事項	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
					2022年4月	工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事	16
						図面名称	全業
						建具表(1)	18

明石市都市局住宅・建築室営繕課

符号	数量	②B AW	1	②B AW	1	③D AW	1	③I AW	1	③Z AW	1	③Z AW	1	③A AW	1	③A AW	1							
形状																								
見込	仕上	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70								
場所	2F 知的障害児通級施設事務所		2F 更衣室・スタッフルーム、指導室1		2F 指導室1・2		2F 指導室2・3		2F 指導室4		3F 食事室		3F 栄養指導室調理室		3F 栄養指導室調理室									
ガラス	IG3		IG3		IG3		IG3		特記無きはIG3、※:IG4		特記無きはIG3、※:IG4		IG3		IG3									
金物	ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2									
備考	複層ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠		複層ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠		複層ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠		複層ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠		複層ガラス用サッシ ノンレールタイプ、下枠:SUSフラット枠		複層ガラス用サッシ 衝突防止シール		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ 衝突防止シール									
符号	数量	③F AW	4	③F AW	3	③B AW	4	③B AW	2	④D AW	2	④I AW	1	④Z AW	1	④Z AW	1							
形状																								
見込	仕上	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70								
場所	3F 男女トイレ		3F 女子トイレ		2F 屋外トイレ・倉庫、3F 男女更衣室		3F 倉庫34、器具庫		3F 器具庫、倉庫34		3F ボランティア活動室		3F ボランティア活動室		3F 講読スペース		3F 指導員室							
ガラス	IG2		IG2		IG2		IG3		IG3		特記無きはIG3、※:IG5		IG3		IG3		特記無きはIG3、※:IG4							
金物	ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2							
備考	複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ 衝突防止シール		複層ガラス用サッシ		複層ガラス用サッシ 衝突防止シール							
符号	数量	④Z AW	A:1, B:1, C:1	④B AW	1	④D AW	1	④I AW	1	④Z AW	1	④Z AW	1	④Z AW	1	④Z AW	1							
形状																								
見込	仕上	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70							
場所	3F 運動室・市民活動スペース・食事室		3F 倉庫35		地階 資機庫		地階 ロビー		地階 ホール		1F 講読スペース		1F 講読スペース		1F 講読スペース		1F 講読スペース							
ガラス	特記無きはIG3、※:IG4		IG3		IG3		BT		特記無きはBT、※:BT		特記無きはBT、※:BT		特記無きはBT、※:BT		10T		10T							
金物	ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式 OP2		ニ、AP、付属金物一式		付属金物一式 K(本):自動ドア用		H、K(本)、レバーハンドル、付属金物一式 K(本):自動ドア用		付属金物一式 K(本):自動ドア用		付属金物一式 K(本):自動ドア用		付属金物一式 K(本):自動ドア用		付属金物一式 K(本):自動ドア用							
備考	複層ガラス用サッシ、衝突防止シール 衝突防止シール		複層ガラス用サッシ、衝突防止シール 衝突防止シール		複層ガラス用サッシ		自動ドアエンジン 衝突防止シール		自動ドアエンジン、衝突防止シール		自動ドアエンジン、衝突防止シール		自動ドアエンジン 衝突防止シール		自動ドアエンジン 衝突防止シール		自動ドアエンジン 衝突防止シール							
符号	数量	⑧ AD	1	⑧ AD	1	⑧ AD	1	⑧ AD	1	⑧ AD	1	⑧ AD	3	⑧ AD	1	⑧ AD	1							
形状																								
見込	仕上	100	100	70	70	40	40	40	40	40	40	40	40	170	170	170	170							
場所	2F 玄関2		3F ボランティア活動室		3F 廊下		2F 屋外トイレ		2F 屋外倉庫		スロープ2、2Fバルコニー		屋外階段4		1F プレイルーム		1F プレイルーム							
ガラス	BT		SPS		IG3		4F		H、LH、K(本) DC1		H、LH、K(本) DC1		H、LH、シリンドー錠 戸当り		H、LH、シリンドー錠 戸当り		特記無きはBT、※:BT							
金物	付属金物一式 K(本):自動ドア用		付属金物一式 F、シリンドー錠錠		H、LH、F、K(本) DC1		H、LH、K(本) DC1		H、LH、K(本) DC1		H、LH、シリンドー錠 戸当り		H、LH、シリンドー錠 戸当り		S		S、付属金物一式 K(本):自動ドア用 SIS304材 巾100							
備考	自動ドアエンジン、衝突防止シール 電気錠		内入れ・片引き 東亜シャッター(横) イースターカーテン ミドルタイプ 又は同等品以上		戸枠見込:190		戸枠見込:285		戸枠見込:285		戸枠見込:285		戸枠見込:285		自動ドアエンジン、衝突防止シール		自動ドアエンジン、衝突防止シール							
金物	ニ 二重水切 AP アンダースペース A アルミ樹脂 S スチール樹脂 H 丁番 N 紐玉(ノブ) K(赤) 非常錠 K(木) ホテル錠 K(黄) 表示錠		F フランス厚し CB カーテンボックス(スチール製) DC1 ドアチェック(ストッパー付) DC2 ドアチェック(ストッパーなし) DC3 ドアチェック(コンシールドタイプ) DS ドアストッパー K(黒) 面付錠 K(白) 本錠錠 K(青) 内錠錠		FH フロアヒンジ GH グラビティヒンジ LH ライトヒンジ OH オートヒンジ PH ビポイントヒンジ OPH1 オートビポイントヒンジ(ストッパー付) OPH2 オートビポイントヒンジ(ストッパーなし)		DH ドアハンドル CH ケースハンドル OP1 オペレーター(フック式) OP2 オペレーター(ワンタッチ開錠) ハンドル収納式・ケース収納型		WD 木製ドア AD アルミドア SD スチールドア SSD ステンレスドア PD 障子戸 f ふすま戸 TB トイレブース CW カーテンウォール		WW 木製窓 AW アルミ窓 SW スチール窓 SSW ステンレス窓 PW 障子窓 SP スチール開仕切 AP アルミ開仕切		WG 木製ガラリ AG アルミガラリ SG スチールガラリ SSG ステンレスガラリ SS スチールシャッター SSS ステンレスシャッター SSF ステンレス枠 SSG スリガラス DP 可動開仕切		P フロート板ガラス F 強化ガラス T 強化ガラス NP 網入り強化ガラス NF 網入り強化ガラス SSG スリガラス		HG 熱線遮断ガラス HWG 熱線遮断入りガラス CHG 熱線反射ガラス SCHG 高性能熱線反射ガラス IG ペアガラス(A=6) FSG フロストガラス ※ 特記なきは、附属金物一式(取付金物、戸当り等)とする。 ※ シリンドー錠とする。 ※ 仕上表示なきアルミ障子はアルミ樹脂とする。		FRP FRP波板・平板 PS ポリカーボネート板 AS アクリル板 STG ステンダラス GB ガラスブロック FTG 耐熱強化ガラス(低脚部)					
特記事項	課長												担当課長		係長		担当		製作年月日 2022年4月		工事名称 工事成績優良業者対象工事 ふれあいプラザあかし西外壁ほか改修工事		内 17	
明石市都市局住宅・建築室営繕課										図面名称 建具表(2)		縮尺		全業 18										

